

睦沢町 健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画

第2章 睦沢町の現状

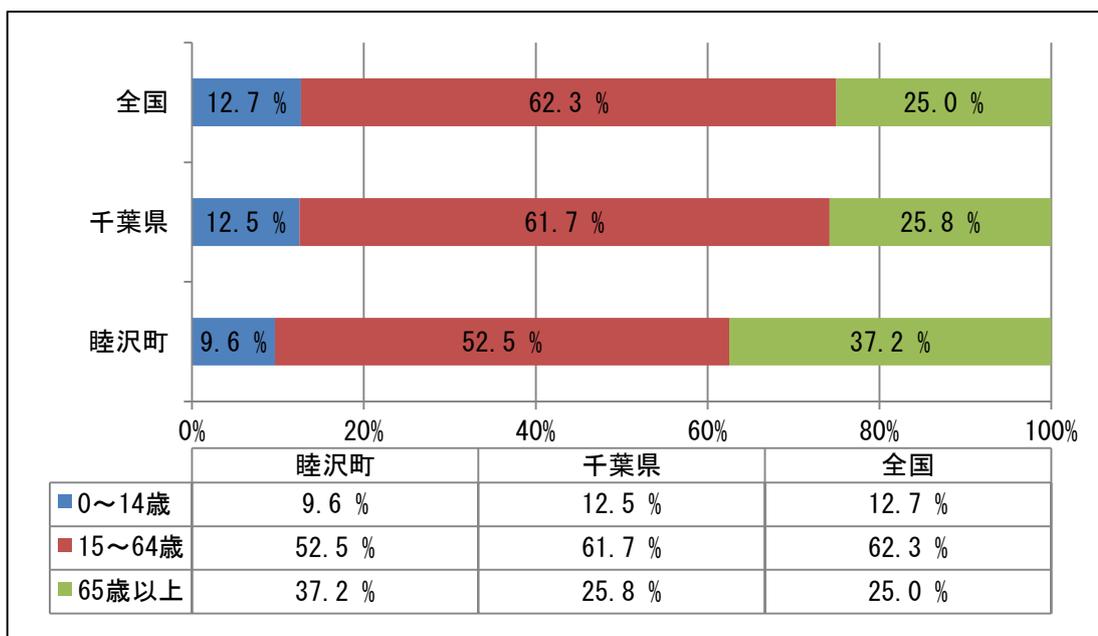
第2章 睦沢町の現状

1. 人口等の状況

(1) 人口と年齢構成の推移

① 年齢3区分別人口割合

平成29年1月1日の年齢3区分別人口の割合を、千葉県や全国と比べると、本町は、千葉県や全国より、65歳以上の割合が非常に高くなっています。



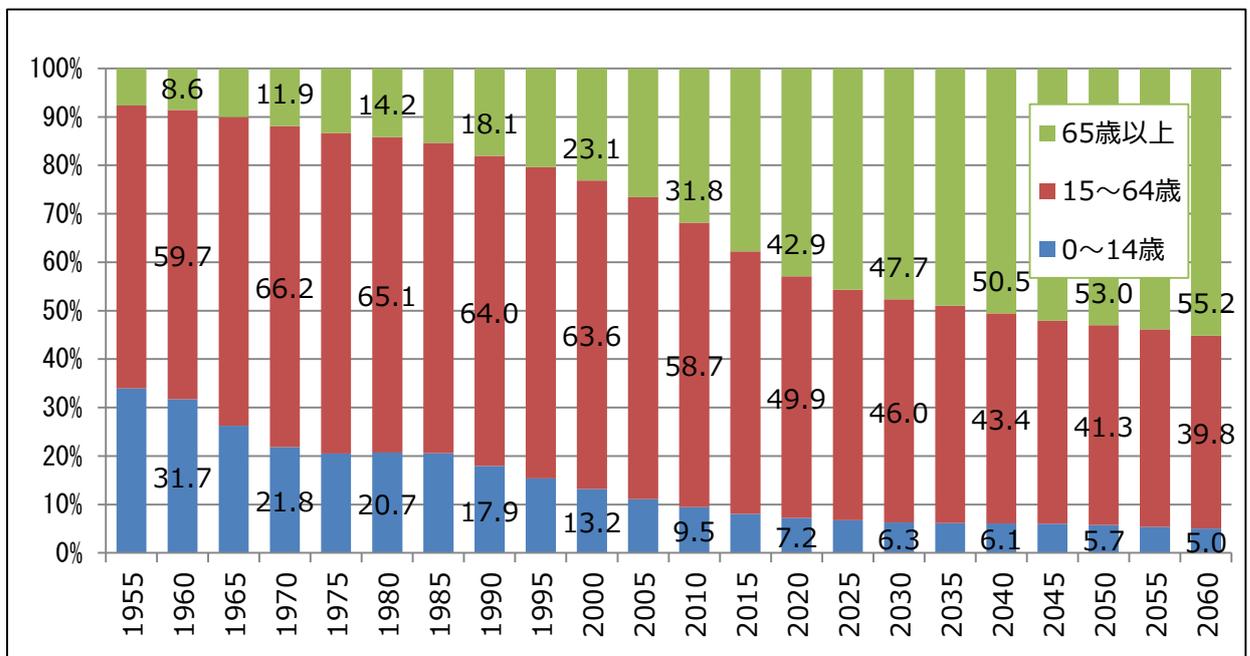
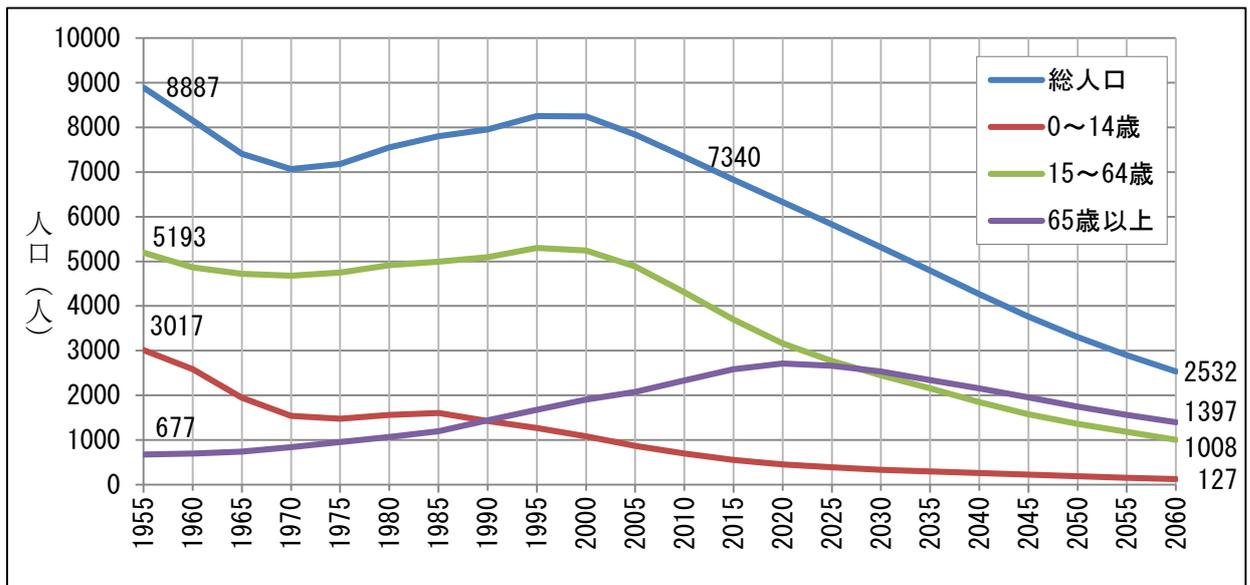
資料：住民基本台帳年齢階級別人口（総務省統計局）

② 年齢3区分人口の推移と推計

現在年齢3区分別人口の推移を見てみると、0～14歳人口と15～64歳人口は年々減少する一方、65歳以上の高齢者人口は年々増加し、少子高齢化が進んでいます。

2060年の将来推計人口は 2,532人で、2010年の7,340人より、4,808人（65.5%）減少しています。

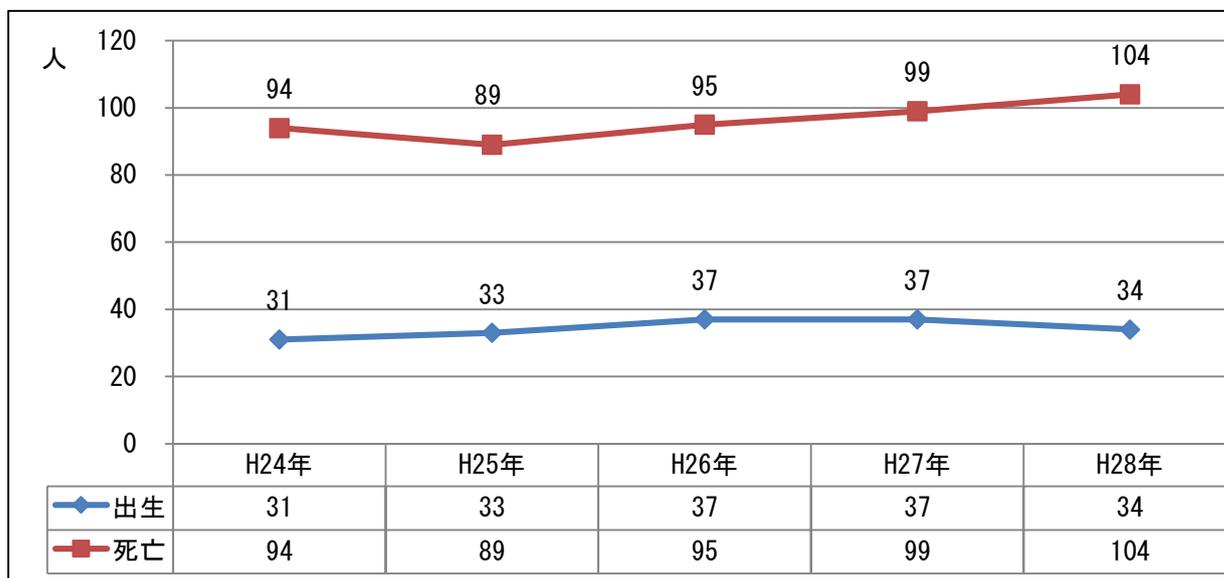
2060年の65歳以上の高齢者人口は 1,397人で、高齢化率は55.2%と推計されています。



資料：2010年までは国勢調査より作成、2015年以降は社人研推計値より作成

(2) 出生・死亡の状況

自然増減（出生数－死亡数）については、近年の自然減は年間 60 人前後で推移しています。



資料：千葉県衛生統計年報

(3) 死亡の現状

① 死因別死亡割合

近年の上位3位までは、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順で占められていましたが、平成27年度は心疾患が悪性新生物を上回りました。

◆死因順位 ()内は人数

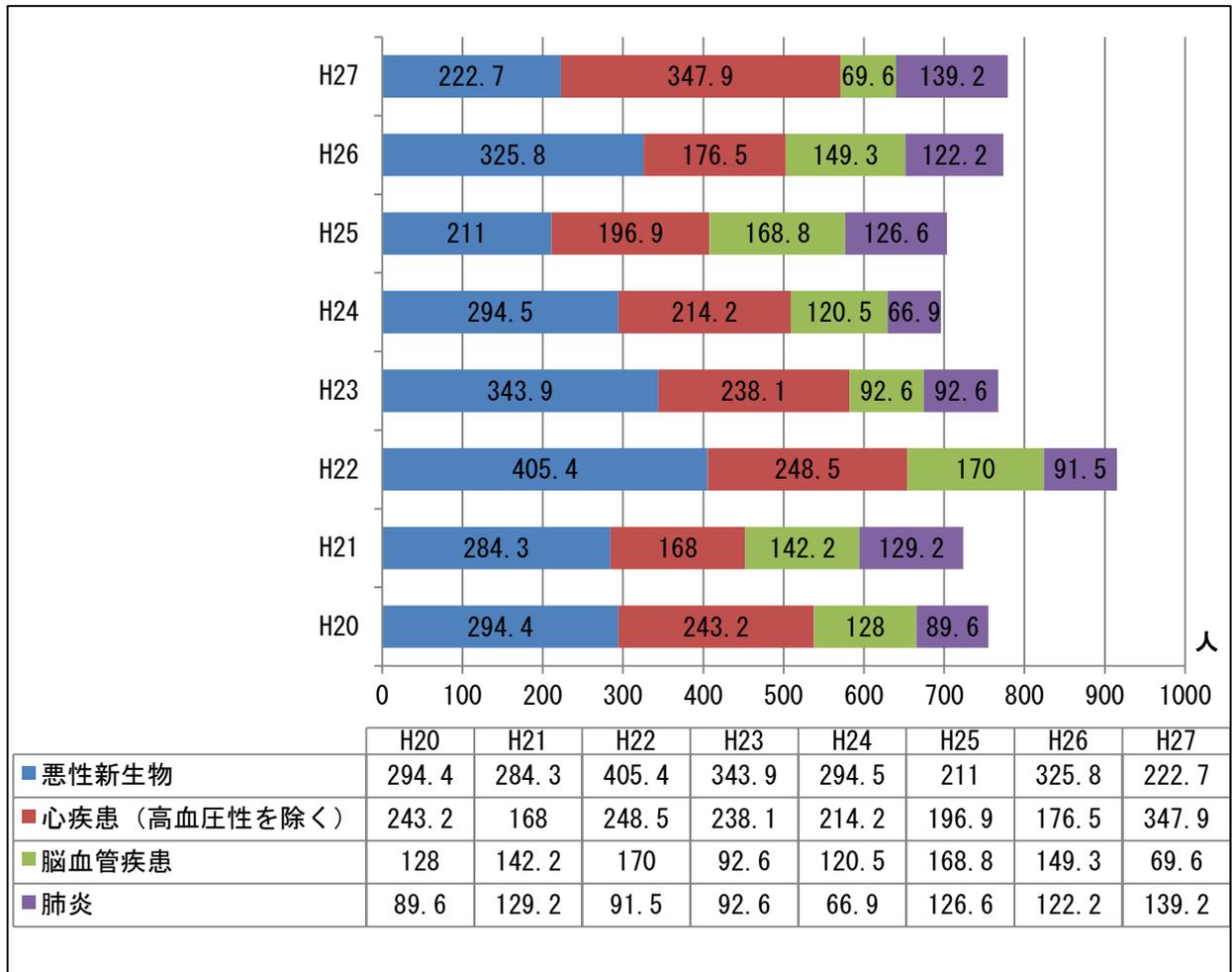
	1 位	2 位	3 位
平成 20 年	悪性新生物 (23)	心疾患 (高血圧性を除く) (19)	脳血管疾患 (10)
平成 21 年	悪性新生物 (22)	心疾患 (高血圧性を除く) (13)	脳血管疾患 (11)
平成 22 年	悪性新生物 (31)	心疾患 (高血圧性を除く) (19)	脳血管疾患 (13)
平成 23 年	悪性新生物 (26)	心疾患 (高血圧性を除く) (18)	老衰 (16)
平成 24 年	悪性新生物 (22)	心疾患 (高血圧性を除く) (16)	脳血管疾患, 老衰 (9)
平成 25 年	悪性新生物 (15)	心疾患 (高血圧性を除く) (14)	脳血管疾患, 老衰 (12)
平成 26 年	悪性新生物 (24)	心疾患 (高血圧性を除く) (13)	脳血管疾患, 老衰 (11)
平成 27 年	心疾患 (高血圧性を除く) (25)	悪性新生物 (16)	老衰 (12)
平成 28 年	悪性新生物 (28)	心疾患 (高血圧性を除く) (18)	老衰 (15)

資料：千葉県衛生統計年報

②人口 10 万対死亡者の推移

悪性新生物の人口 10 万対死亡者は減少傾向ですが、心疾患の人口 10 万対死亡者は増加しています。

◆人口 10 万対死亡者の推移



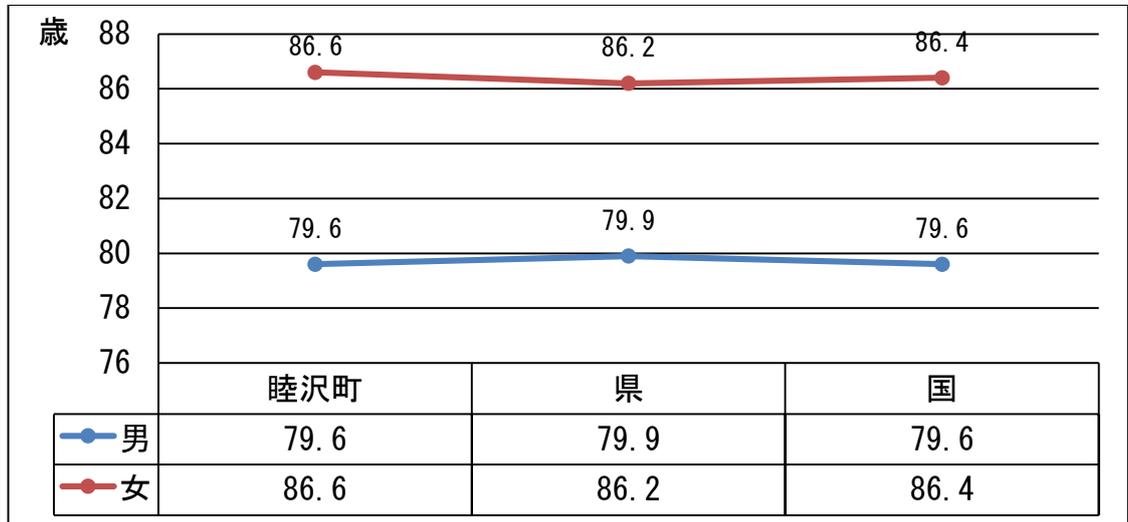
資料：長生健康福祉センター事業年報 平成 20 年～平成 27 年

(4) 平均寿命と健康寿命

① 平均寿命

睦沢町の男性の平均寿命は、国と同じく 79.6 歳で、県の 79.9 歳よりも短くなっています。

女性の平均寿命は、86.6 歳で、県の 86.2 歳、国の 86.4 歳より長くなっています。

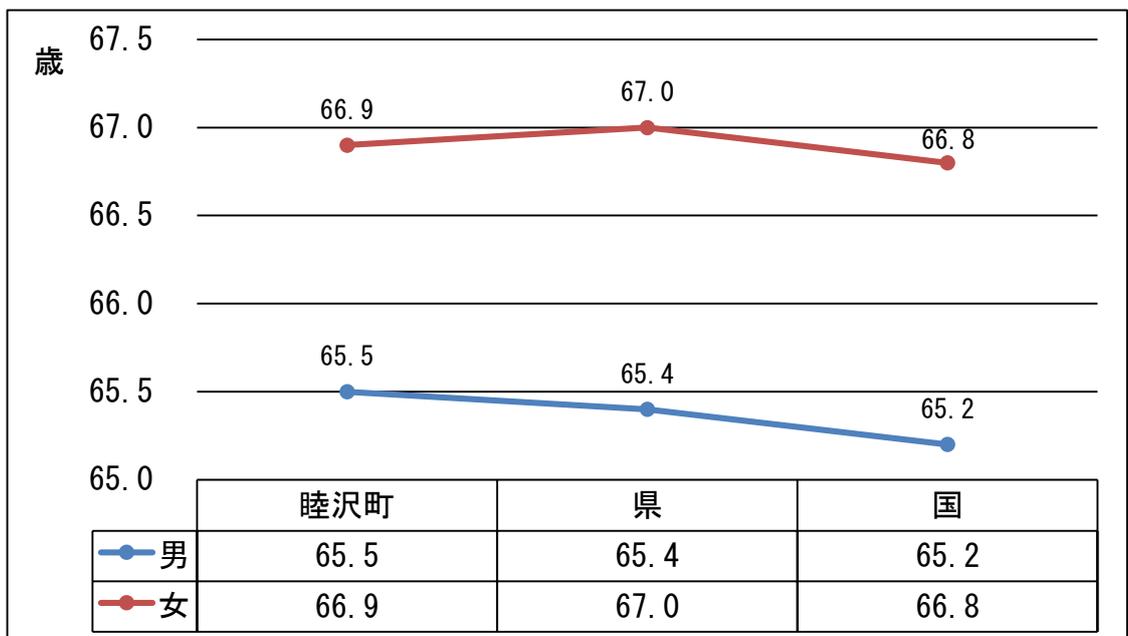


資料：KDB システム「地域の全体像の把握（平成 29 年 4 月）」

② 健康寿命

睦沢町の男性の健康寿命は、65.5 歳で、県の 65.4 歳、国の 65.2 歳より長くなっています。

女性の健康寿命は、66.9 歳で、県の 67.0 歳より短い、国の 66.8 歳より、長くなっています。

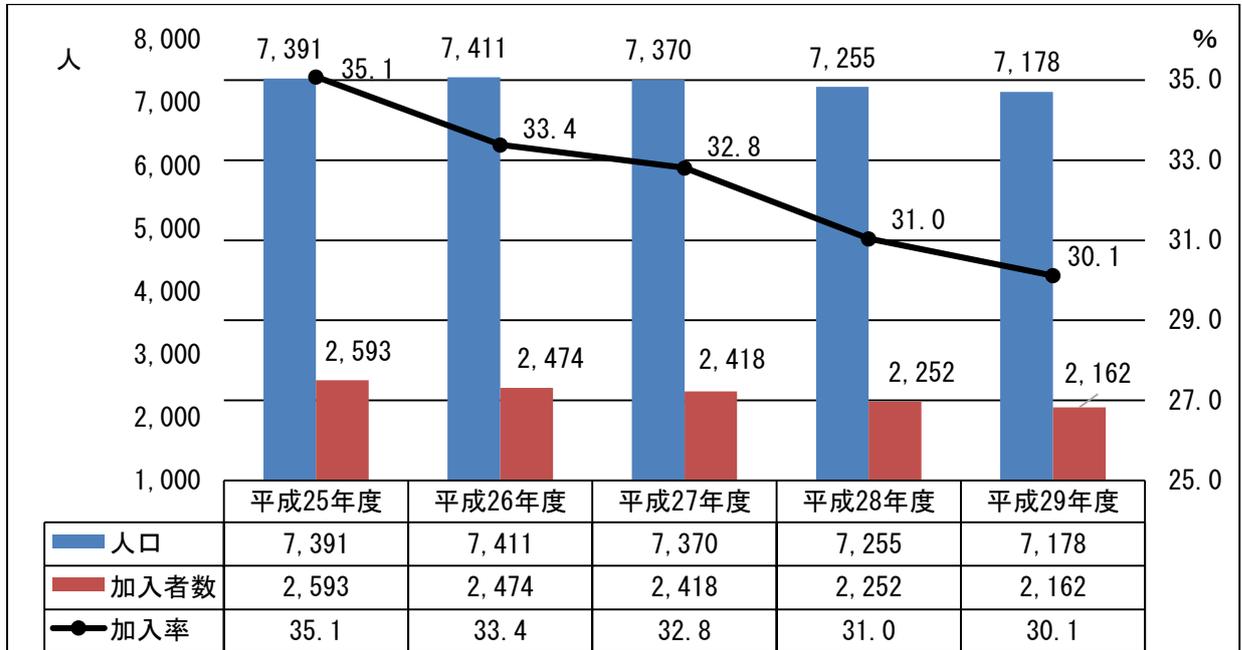


資料：KDB システム「地域の全体像の把握（平成 29 年 4 月）」

2. 国民健康保険の現状

(1) 国民健康保険の加入推移

町の国民健康保険加入者数は、平成29年では2,162人で、平成25年の2,593人と比較すると、この5年間で431人(16.6%)減り、年々減少しています。

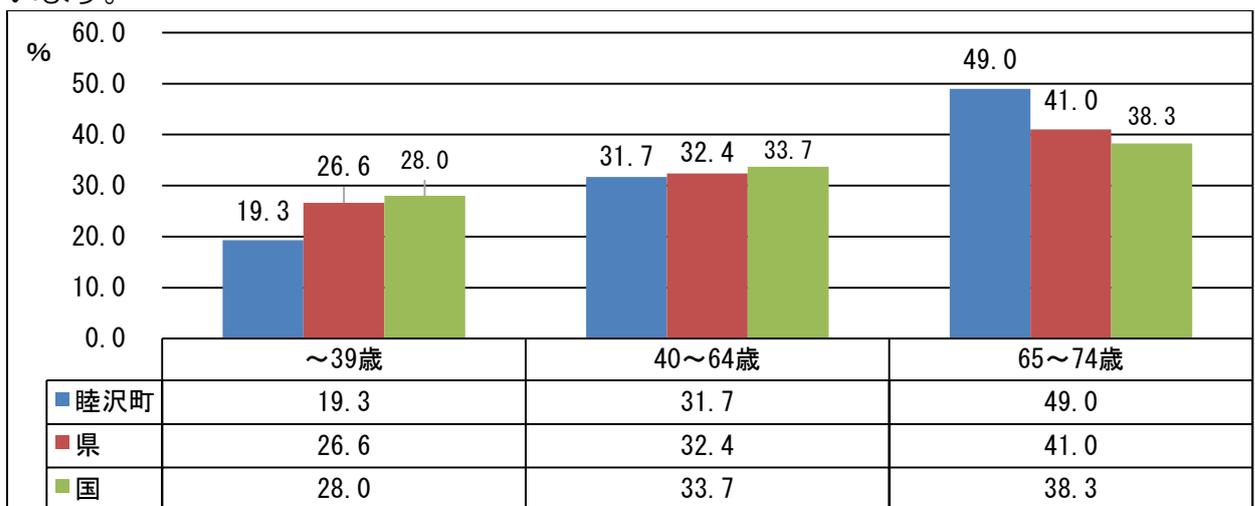


資料：住民基本台帳（人口のみ）

資料：KDBシステム 「地域の全体像の把握」（毎年度累計）

(2) 加入者の年齢構成割合

睦沢町の被保険者の構成割合をみると、65～74歳(49.0%)が約5割を占め最も多く、県・国を上回っています。一方、39歳以下(19.3%)は県・国を下回っています。

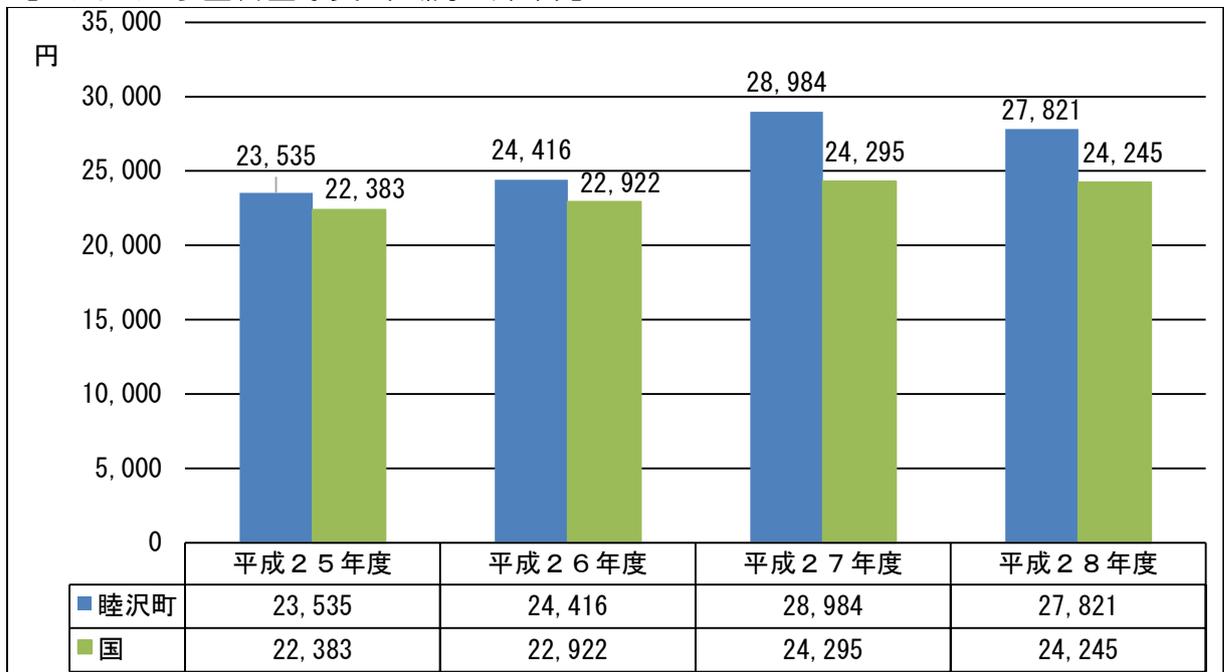


資料：KDBシステム 「地域の全体像の把握」（H29年度累計）

(3) 医療費の状況

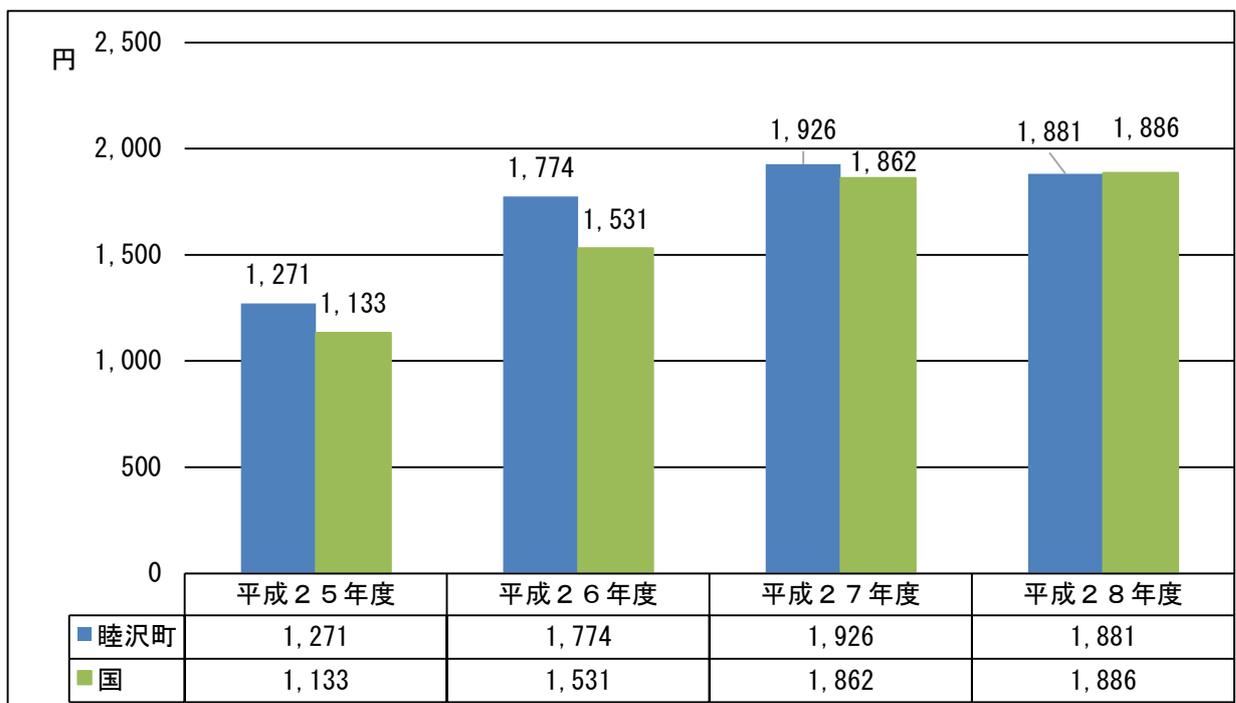
睦沢町は国同様一人当たり医療費が27年度まで毎年増え、28年度にやや減少しています。国と比較すると内科医療費・歯科医療費ともにほぼ国を上回っています。

【一人当たり内科医療費（入院・外来）】



資料：KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（各年度累計）

【一人当たり歯科医療費（入院・外来）】

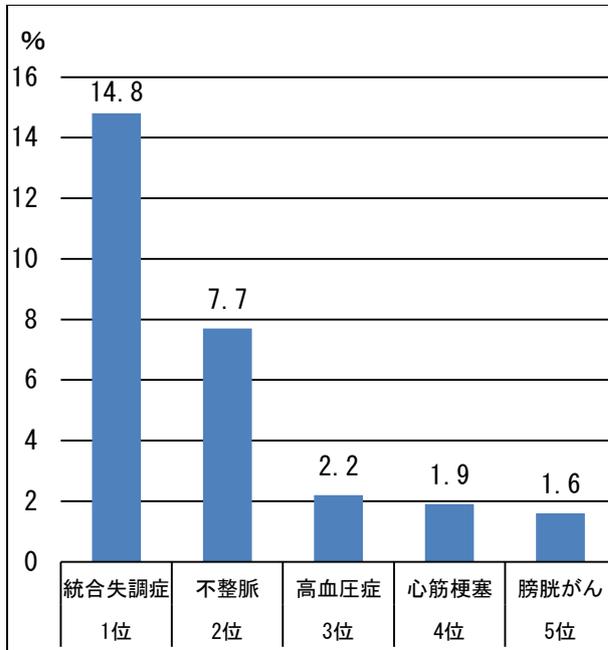


資料：KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（各年度累計）

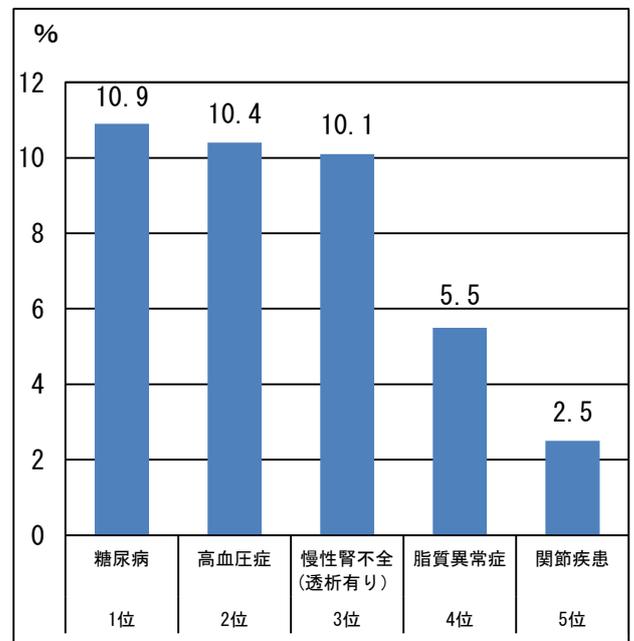
(4) 疾患別医療費の状況

入院医療費の第1位は統合失調症で14.8%、外来医療費の1位は糖尿病で10.9%です。入院+外来医療費の上位は、1位が統合失調症(7.6%)、2位が高血圧症(6.7%)、3位が糖尿病(5.8%)で精神疾患の医療費が高い状況です。

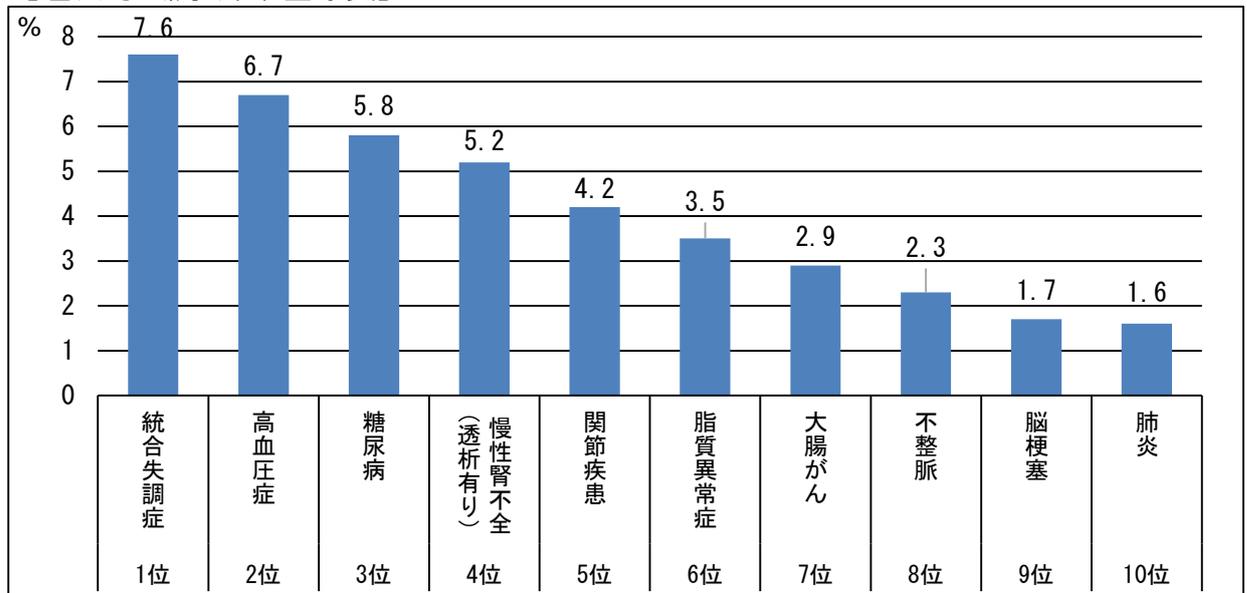
【睦沢町入院医療費】



【睦沢町外来医療費】



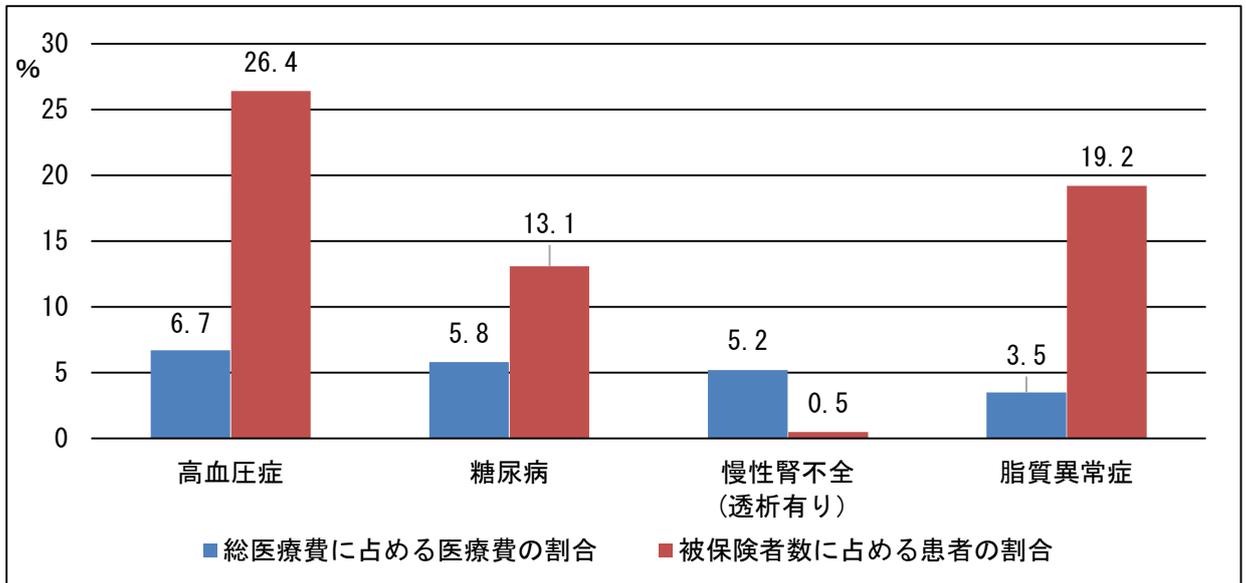
【睦沢町入院+外来医療費】



資料：KDB 医療費分析（2）大、中、細小分類平成28年度累計 総医療費を100%として算出

【生活習慣病の医療費（入院+外来）及び患者数の状況】

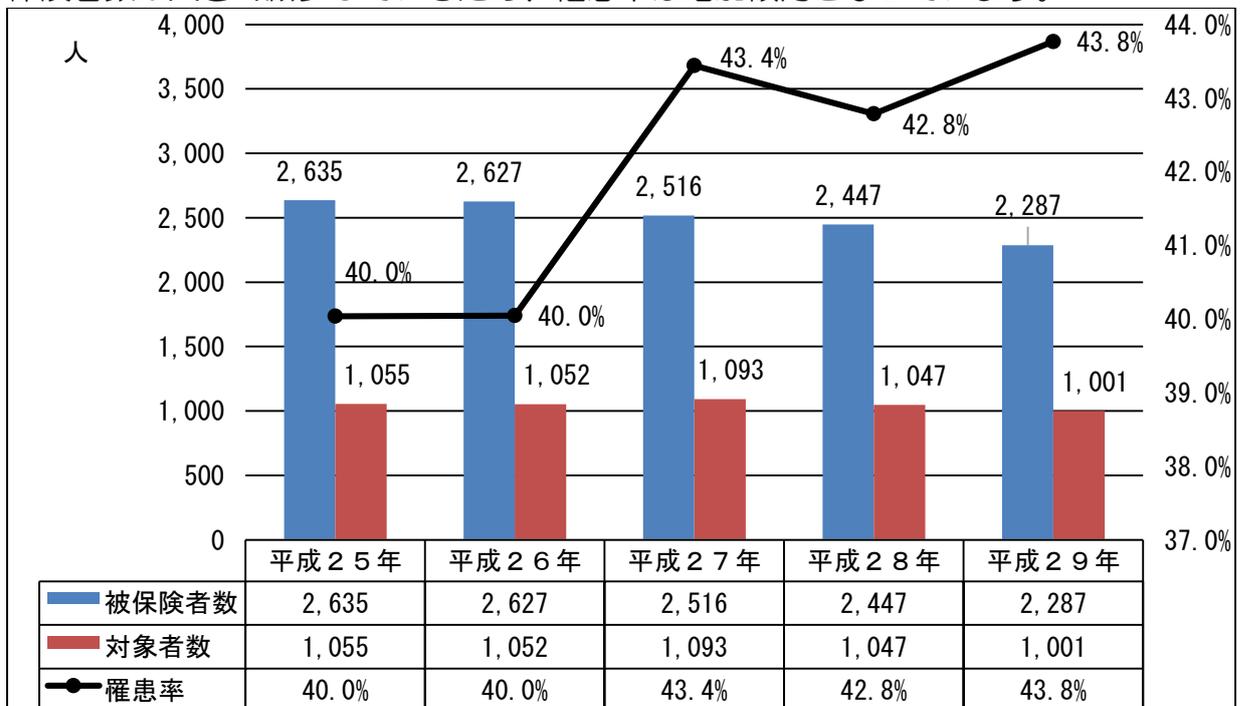
町の生活習慣病の医療費および患者の割合を比較すると、慢性腎不全の患者数は0.5%に対し医療費の割合は5.2%であり、他の生活習慣病疾患より一人当たり医療費が高くなっています。



資料：総医療費は KDB 医療費分析平成 28 年度累計 人数は平成 29 年 6 月のレポート分析による

(5) 生活習慣病対象者の状況

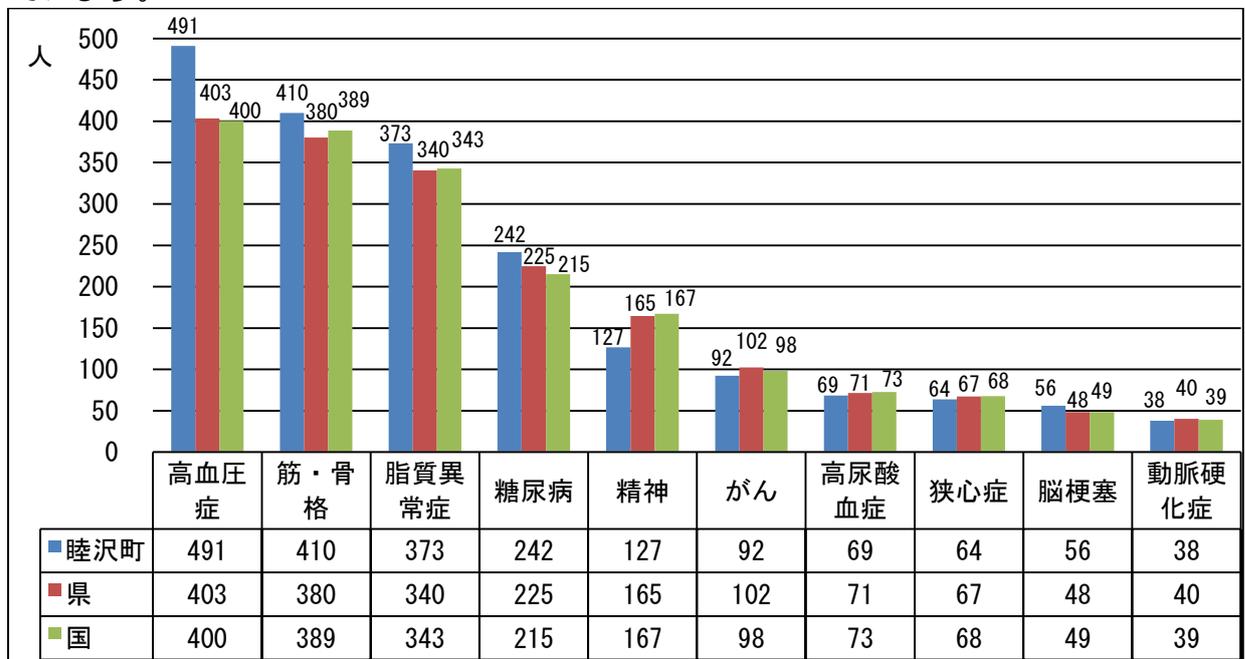
睦沢町の生活習慣病対象者数は平成 25 年から 29 年では、ほぼ横ばいですが、被保険者数が大きく減少しているため、罹患率は増加傾向となっています。



資料：KDB システム 厚生労働省様式 (3-1) (各年 4 月診療分)

(6) 患者千人当たり生活習慣病等患者数

国・県と比較して有病率の高い疾病は、高いほうから順に高血圧症、筋・骨格系疾患、脂質異常症、糖尿病となっています。高血圧症については国平均に比べて1.2倍、糖尿病では国平均の1.1倍となっており、生活習慣病にかかる割合が比較的多くなっています。

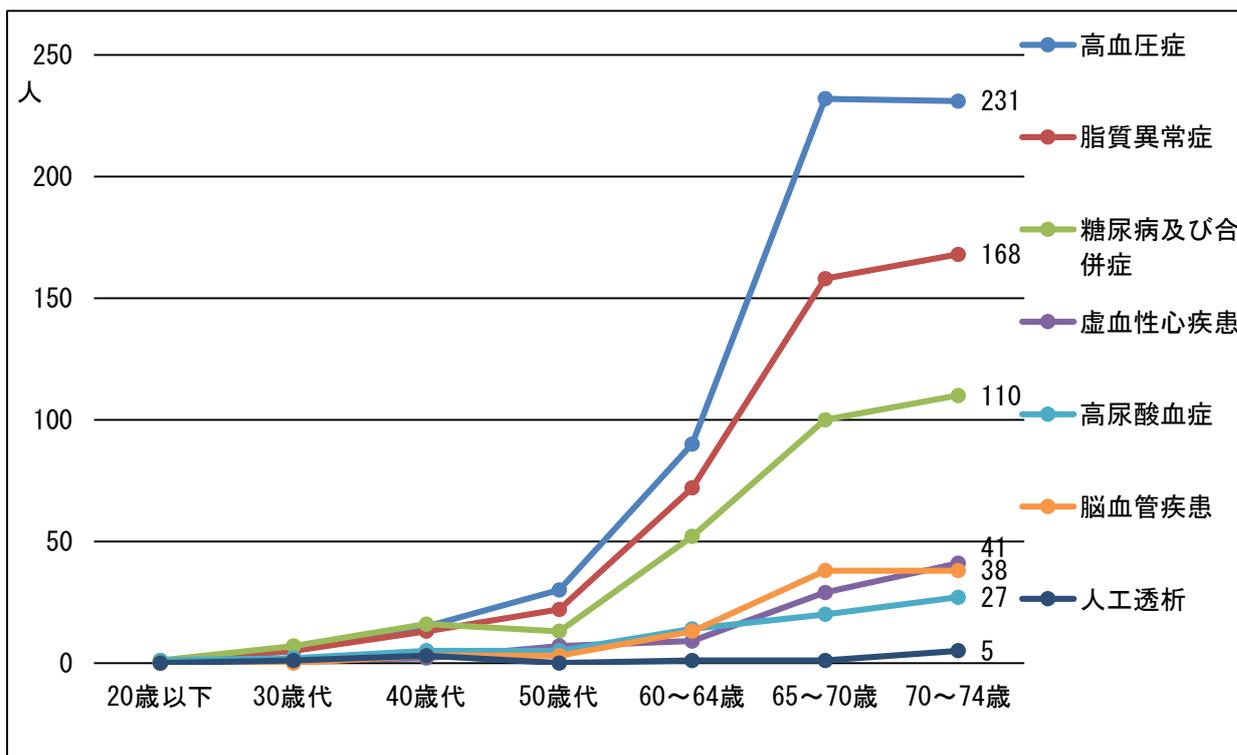


資料：KDBシステム「医療費分析（1）最小分類 平成29年度累計」

(7) 疾患別・年代別患者数

睦沢町の疾患別・年代別患者数をみると、若干のばらつきはあるものの、40歳前後から徐々に上昇を始め、60歳代から伸び率が急激に上昇するという傾向がみられます。

生活習慣病は、発症するまでに10年から20年の年月を要するとも言われ、40歳前後から予防活動を始めることが望ましいといえます。



(単位：人)

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～70歳	70～74歳	合計
高血圧症	0	5	15	30	90	232	231	603
脂質異常症	1	5	13	22	72	158	168	439
糖尿病及び合併症	1	7	16	13	52	100	110	299
虚血性心疾患	0	1	2	7	9	29	41	89
高尿酸血症	1	2	5	5	14	20	27	74
脳血管疾患	0	0	3	3	13	38	38	95
人工透析	0	1	3	0	1	1	5	11

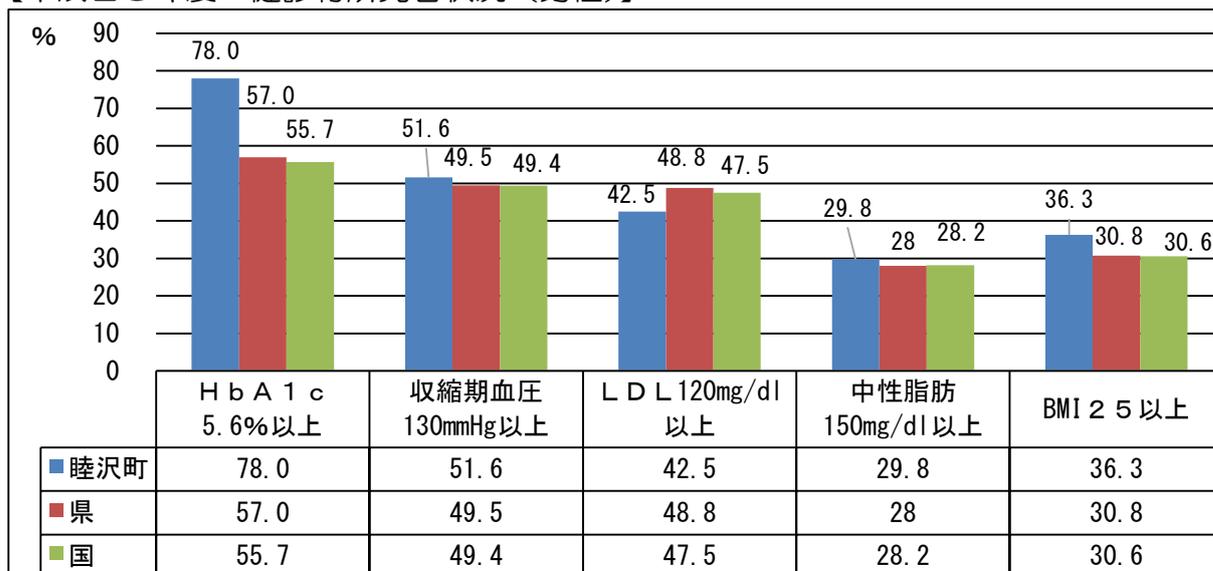
資料 KDB システム「厚生労働省様式 3-1 生活習慣病全体のレポート分析」(平成 29 年 4 月診療分)

3. 各種検診の状況

(1) 特定健診有所見者の状況

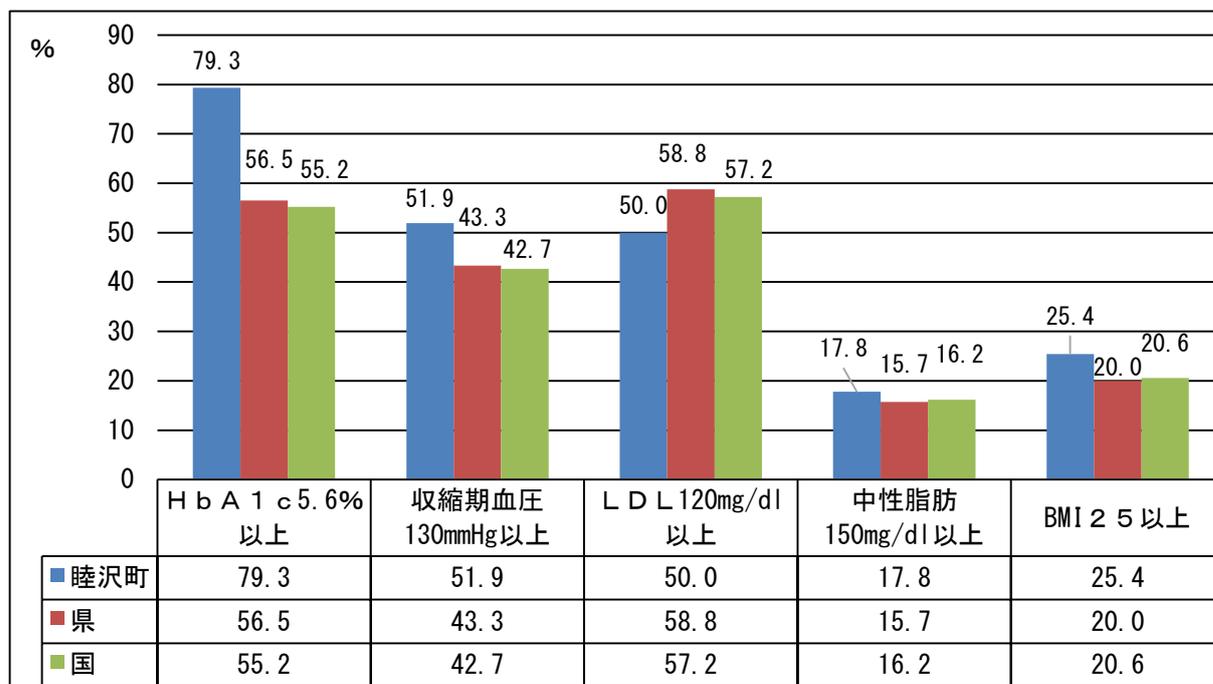
特定健診の主要検査項目のうち、有所見割合の高い項目を男女別にみると、HbA1cの値が年齢性別関係なく、国・県より際立って高くなっています。男性については国の1.40倍、女性については国の1.44倍となっています。また、収縮期血圧については女性が高く、BMIについては男女ともに割合が高くなっています。

【平成28年度 健診有所見者状況（男性）】



資料：KDB「厚生労働省様式 6-2～7 健診有所見者状況」

【平成28年度 健診有所見者状況（女性）】

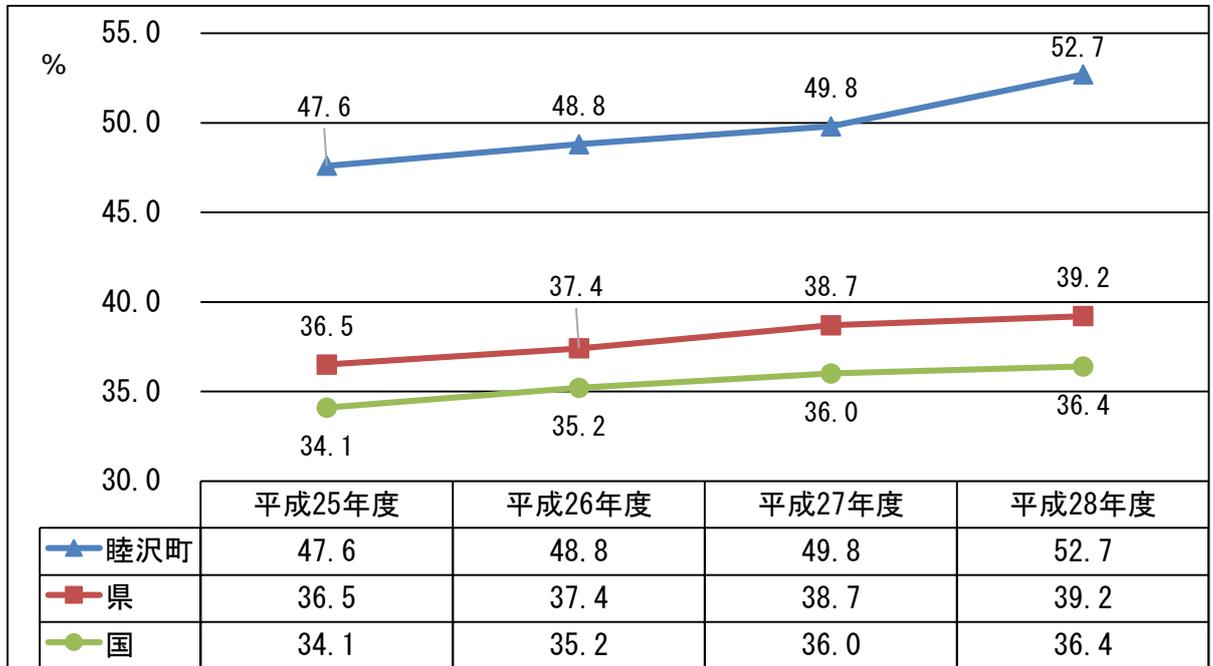


資料：KDB「厚生労働省様式 6-2～7 健診有所見者状況」

(2) 特定健診受診率の推移

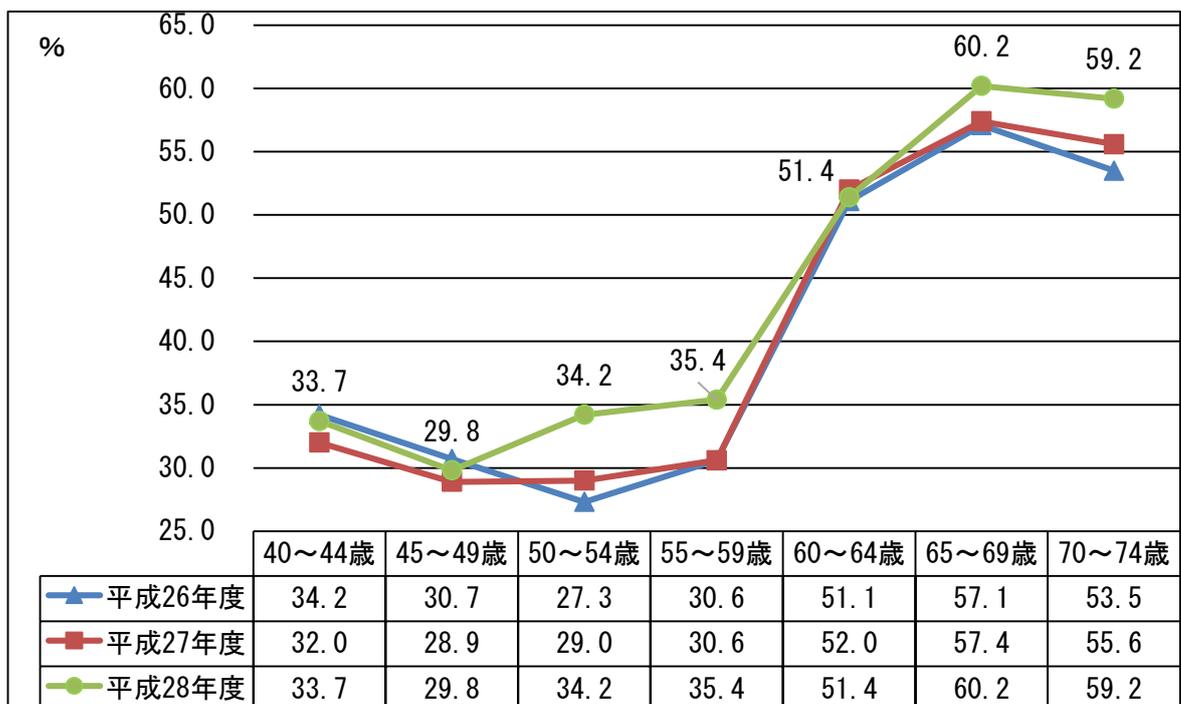
町の特定健診受診率は年々増加し、国・県との比較では大きく上回っています。年齢区別の受診率では、若い世代の受診率が低くなっています。

【特定健診受診者推移】



資料：KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

【年齢区別受診率】



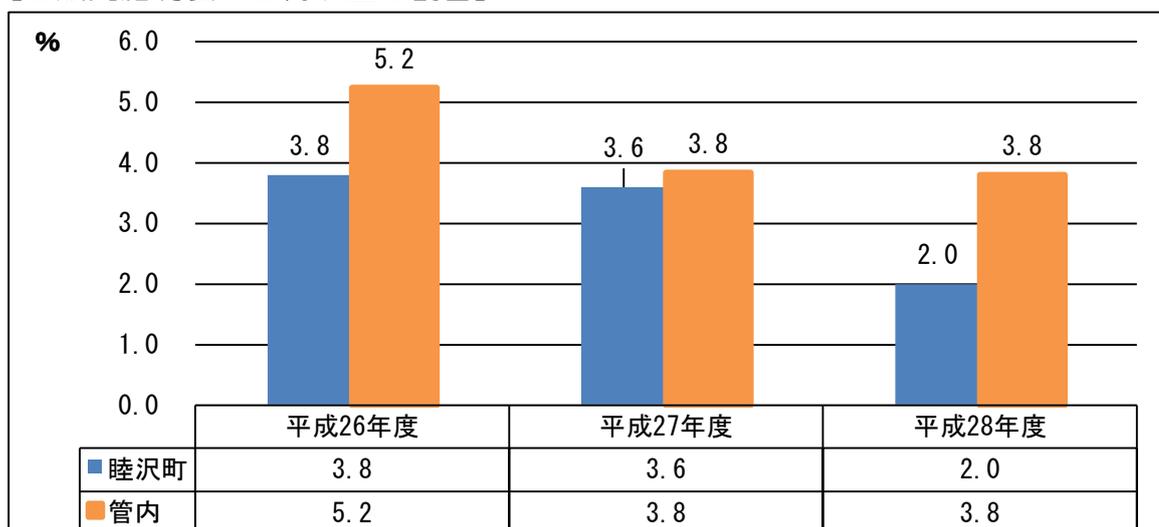
資料：法定報告

(3) 肥満の状況

① 幼児

3歳児健康診査において、肥満度15%以上の児の割合は管内より下回っています。

【3歳児肥満度15%以上の割合】

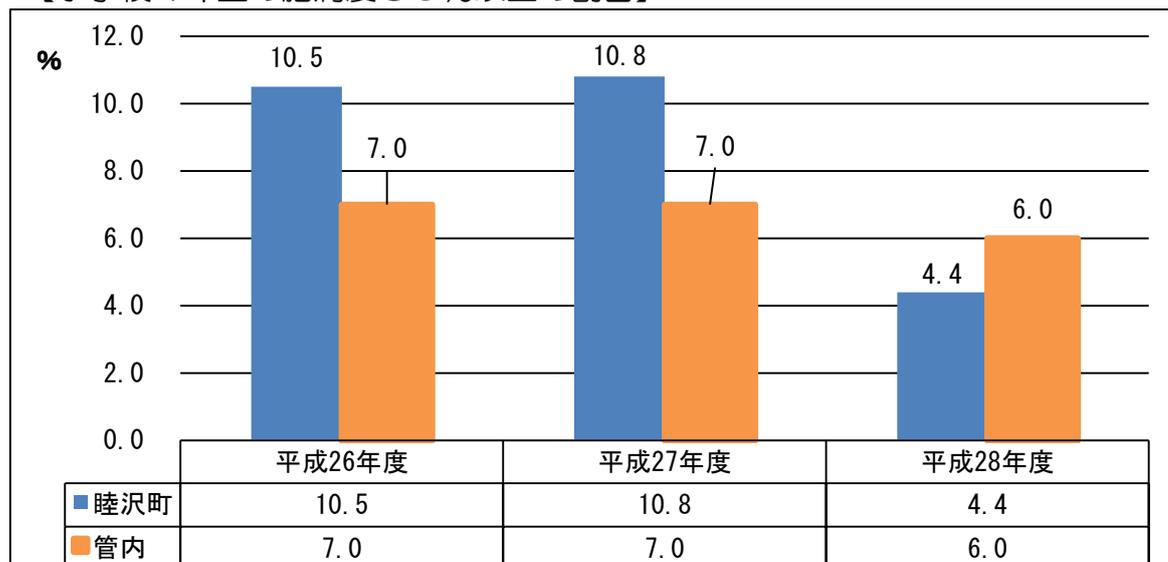


資料：3歳児健康診査問診票

② 小学生

小児生活習慣病予防検診において、小学4年生の肥満度30%以上の児の割合は、平成26年度と平成27年度は管内で高い傾向にありました。平成28年度は減少しています。

【小学校4年生の肥満度30%以上の割合】

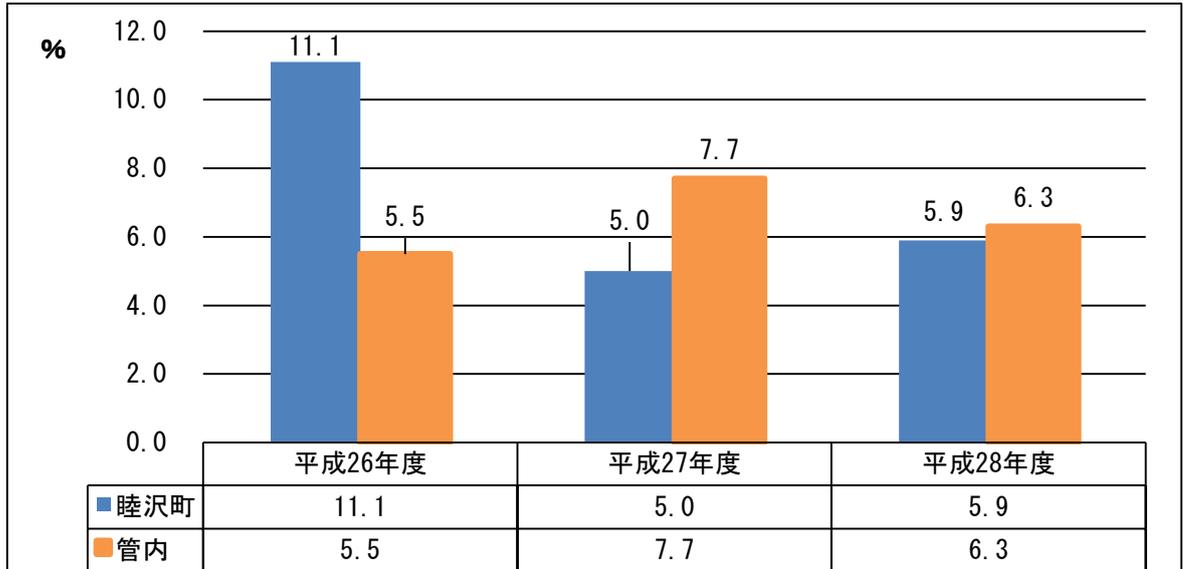


資料：茂原市長生郡小児生活習慣病予防検診結果集計

③中学生

小児生活習慣病予防検診において、中学1年生の肥満度30%以上の児の割合は、平成26年度は管内より高い傾向にありましたが、平成27年・28年度は管内よりも減少しています。

【中学1年生の肥満度30%以上の割合】

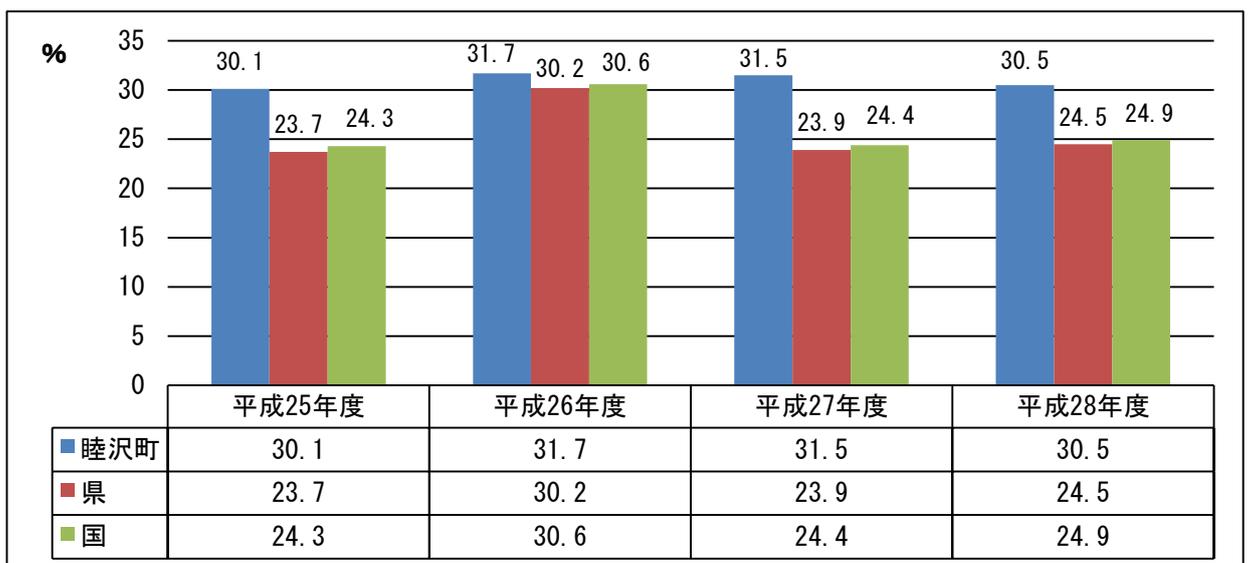


資料：茂原市長生郡小児生活習慣病予防検診結果集計

④40～74 歳

町の特定健康診査の結果をみると、肥満者（BMI 25以上）の割合は、平成25年度以降横ばいであり県・国平均より高い割合となっています。

【BMI 25以上の割合】

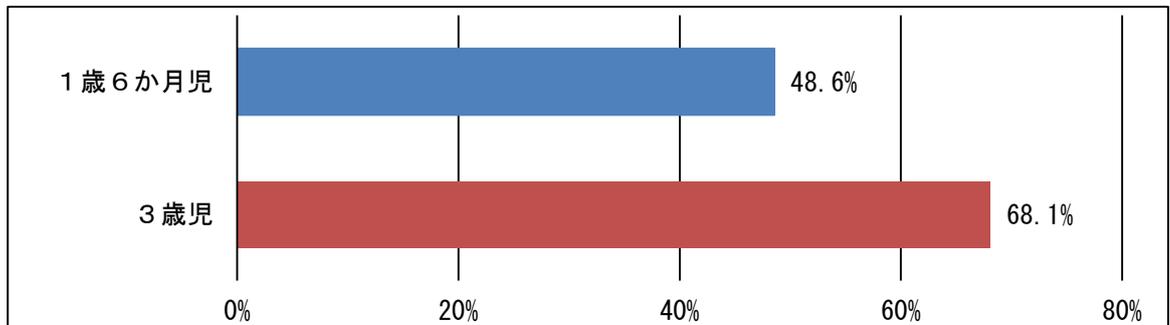


資料：KDB「厚生労働省様式（様式6-2～7）」

(4) 生活習慣の状況

① 食べ物の好き嫌いのある子

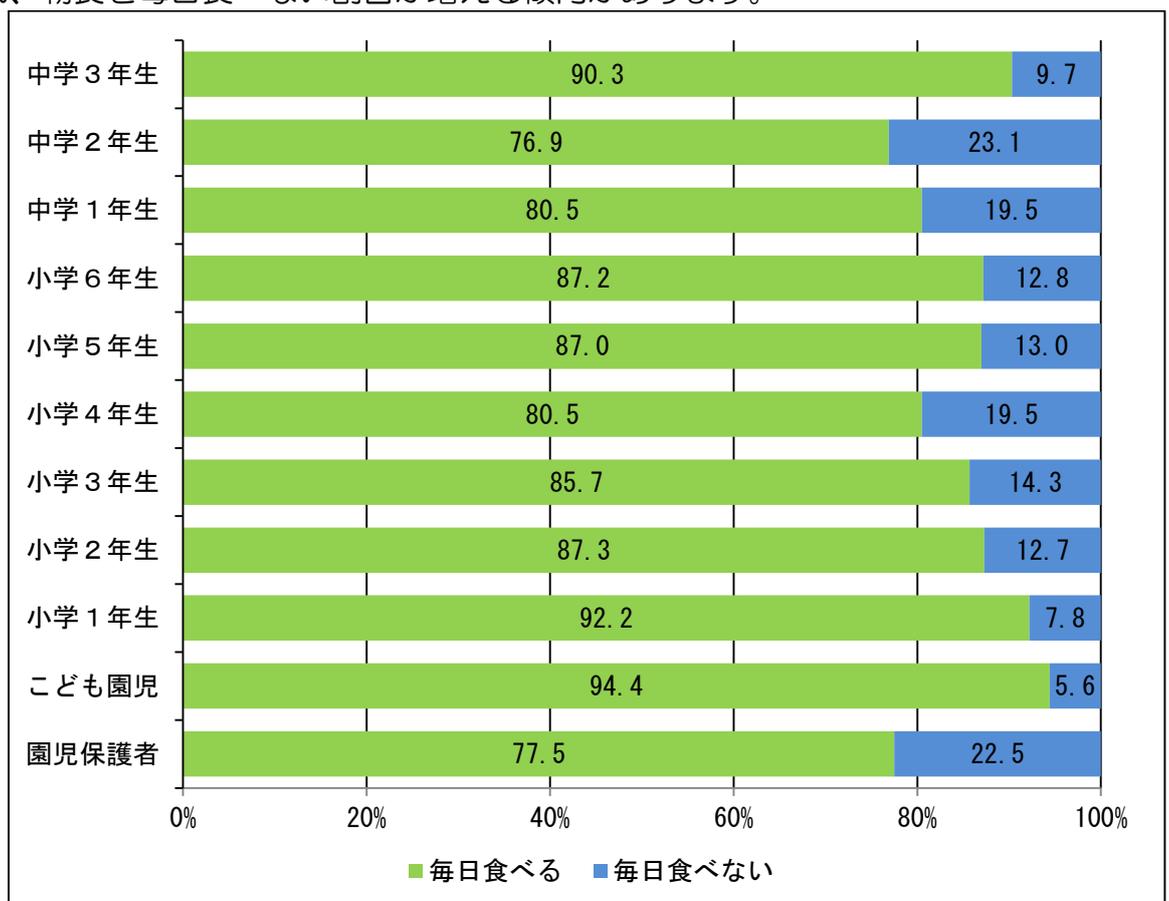
食べ物の好き嫌いのある1歳6か月児は約半数ですが、3歳児では約7割近くに増えています。



資料：平成28年度1歳6か月児健診・3歳児健診の問診票

② 幼児・児童・生徒・園児保護者の朝食の喫食状況

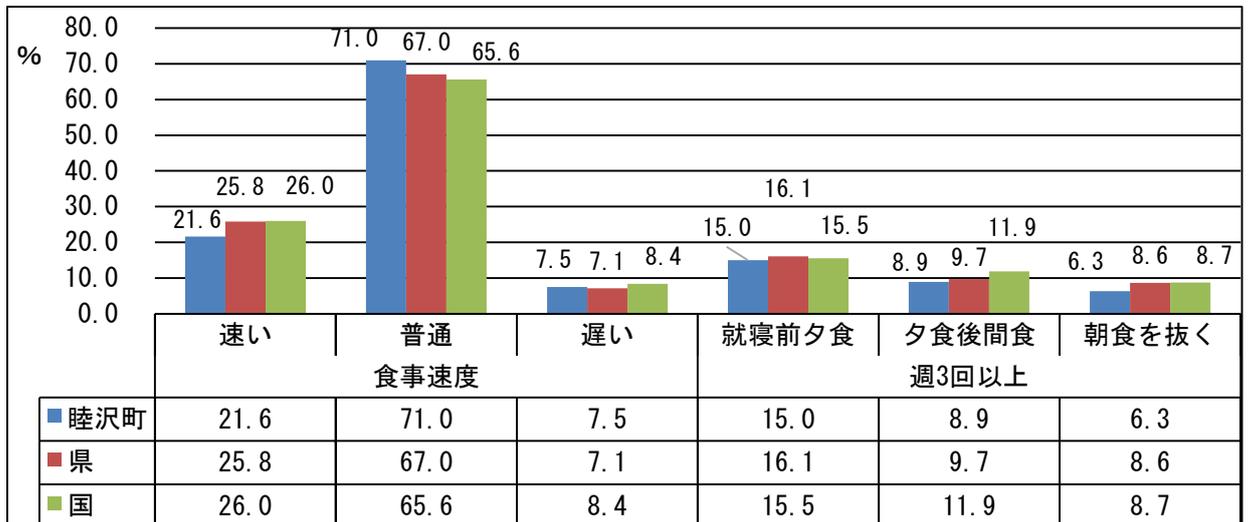
朝食を毎日食べない園児は5.6%、朝食を毎日食べない保護者は22.5%で保護者の方が朝食を毎日食べない割合が高いです。児童・生徒は、学年があがるにつれ、朝食を毎日食べない割合が増える傾向があります。



資料：平成29年度こども園食生活アンケート（3歳以上）、平成29年度児童生徒の朝食欠食状況

③食事習慣（40～74 歳）

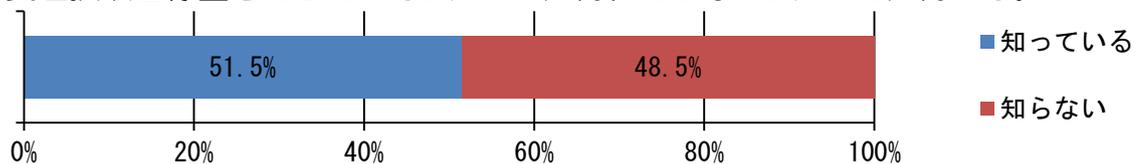
食習慣では、食事速度が速い人（21.6%）は県・国より低く、普通の人（71%）は7割を超え、県・国より高く、遅い人（7.5%）は県より高く国より低くなっています。また、週3回以上就寝前夕食をとる人（15%）、週3回以上夕食後間食をとる人（8.9%）、週3回以上朝食を抜く人（6.3%）の割合はいずれも県・国より低くなっています。



資料：KDB「地域の全体像の把握」平成28年度

④30～80 歳代の食塩摂取目標量の周知状況

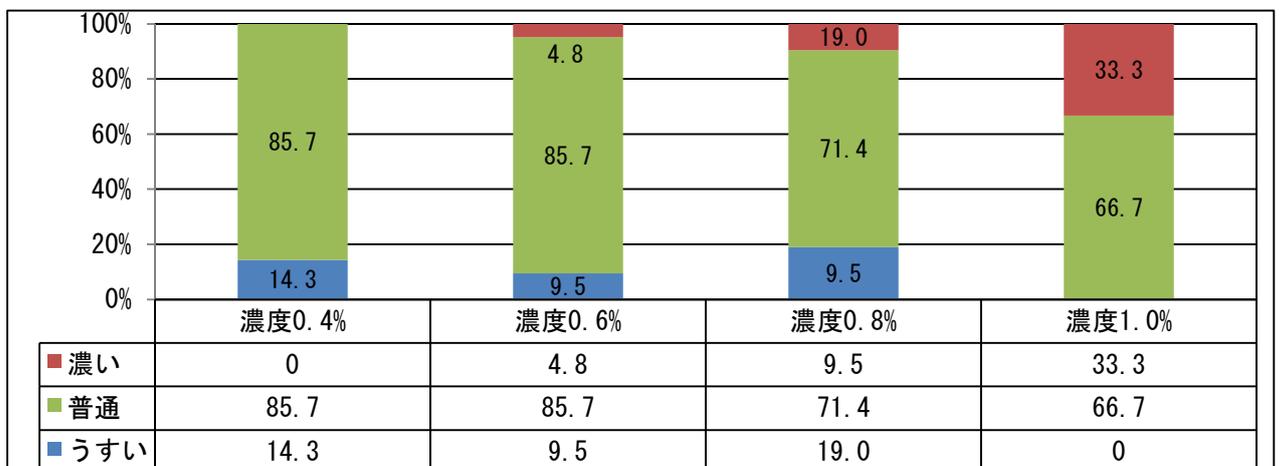
食塩摂取目標量を知っている人が51.5%、知らない人が48.5%いる。



資料：平成28年度睦沢町塩分調査アンケート

⑤20～80 歳代の汁物の塩分測定値と味付け

汁物の塩分濃度が高くなるにつれ、濃い味付けが増えている。

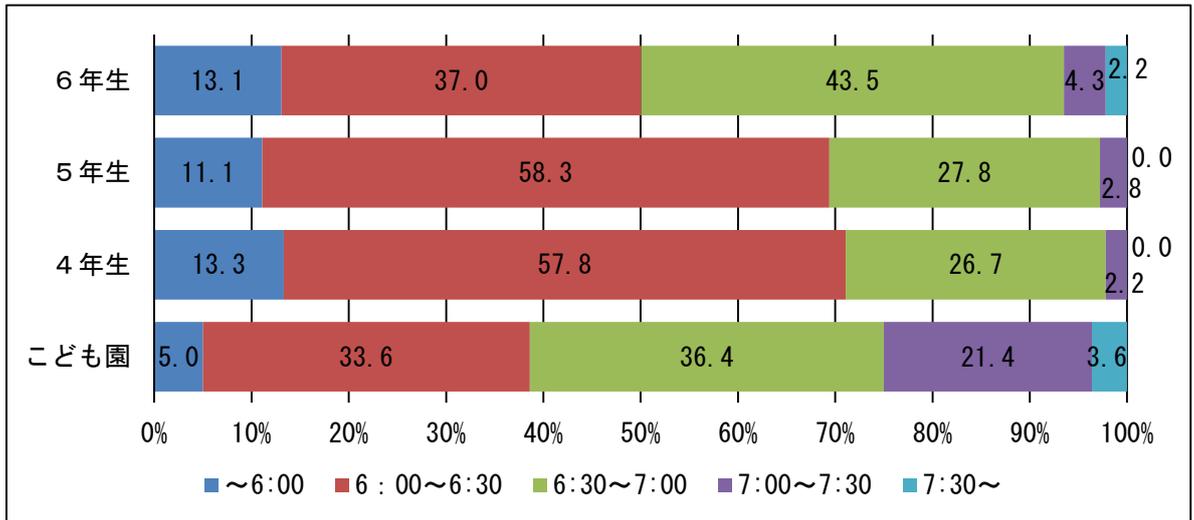


資料：平成29年度睦沢町塩分調査アンケート

⑥子どもの起床時間・就寝時間

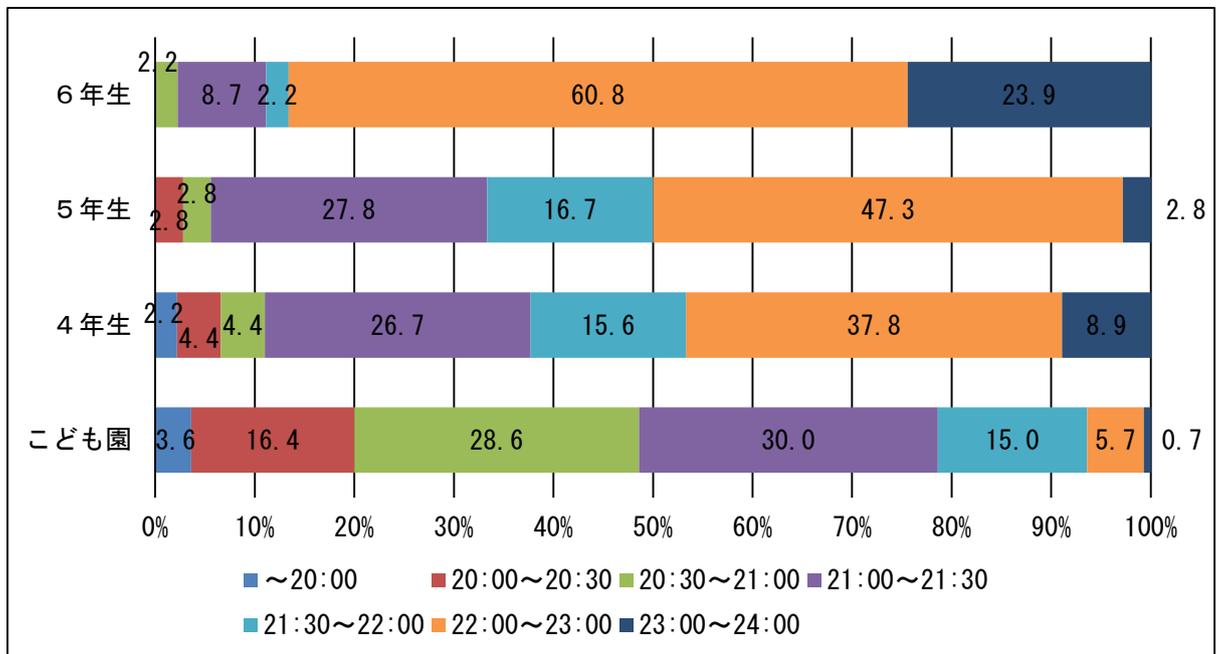
子どもの起床時間をみると、6：00～7：00に起きている子が多くなっていますが、7：00以降に起きる子も少数います。
 子どもの就寝時間をみると、6年生は就寝時間が遅い傾向にあります。また、こども園児（3歳児以上）で22：00以降に就寝している子がいます。

【起床時間】



資料：平成 28 年度睦沢こども園食生活アンケート（3歳以上）
 資料：平成 28 年度睦沢町生活習慣に関する調査

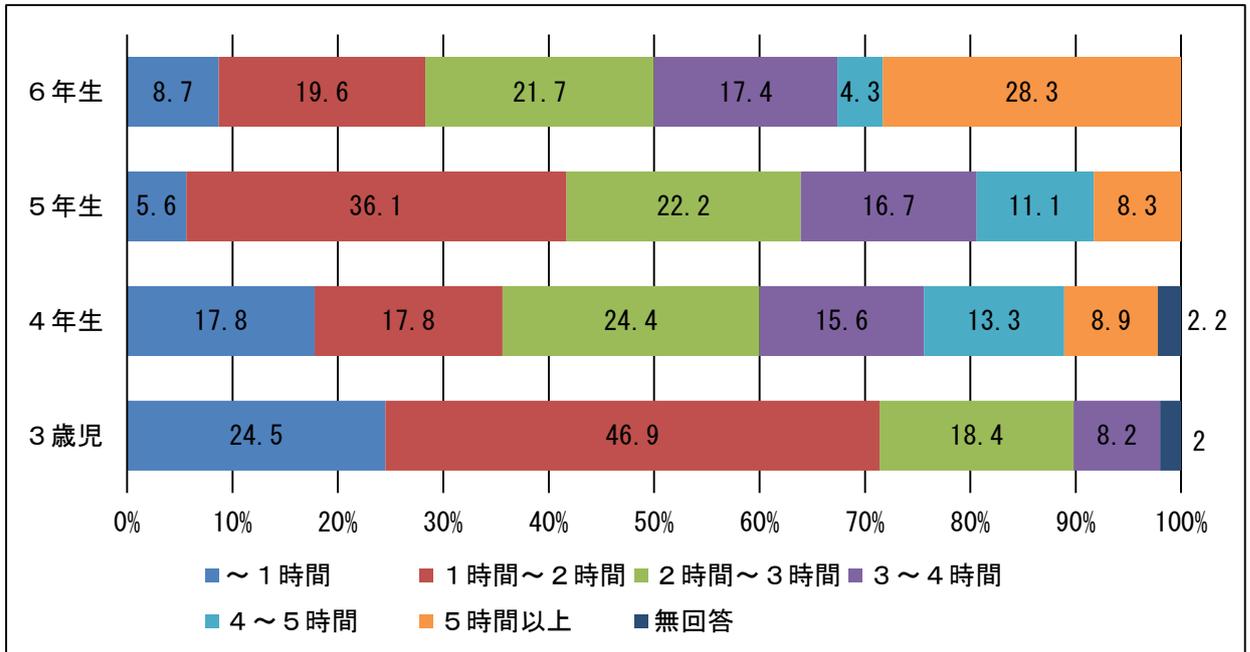
【就寝時間】



資料：平成 28 年度睦沢こども園食生活アンケート（3歳以上）
 資料：平成 28 年度睦沢町生活習慣に関する調査

⑦テレビ等を見る時間

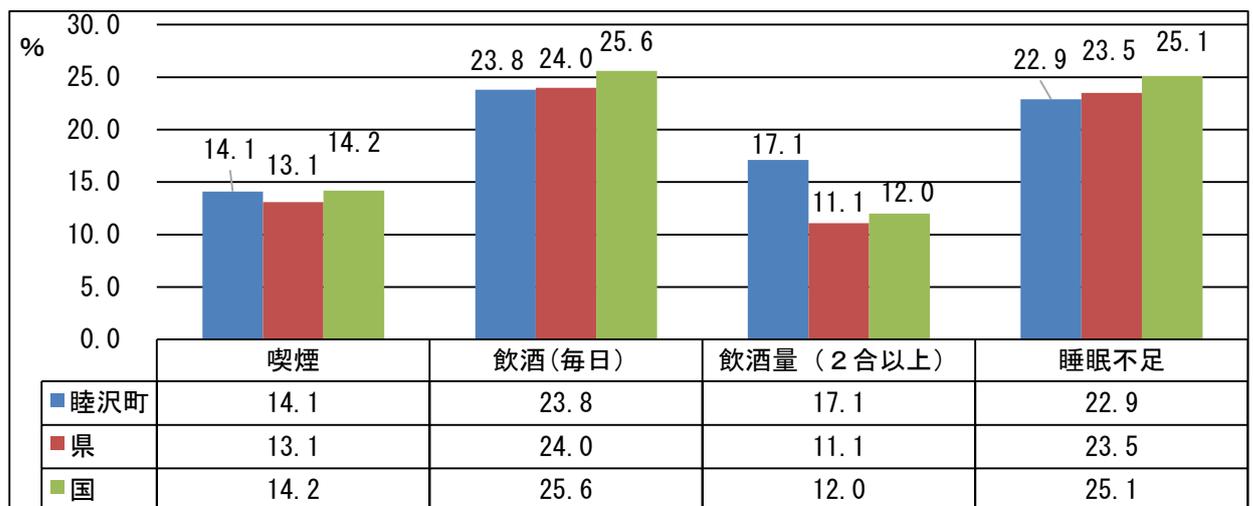
テレビ等を見る時間は年齢が上がるにつれ、長い時間見ていることがわかります。また、3歳児で3～4時間テレビを見ている児がいます。



資料：平成28年度3歳児健診問診票、平成28年度睦沢町生活習慣に関する調査

⑧喫煙・飲酒・睡眠状況（40～74歳）

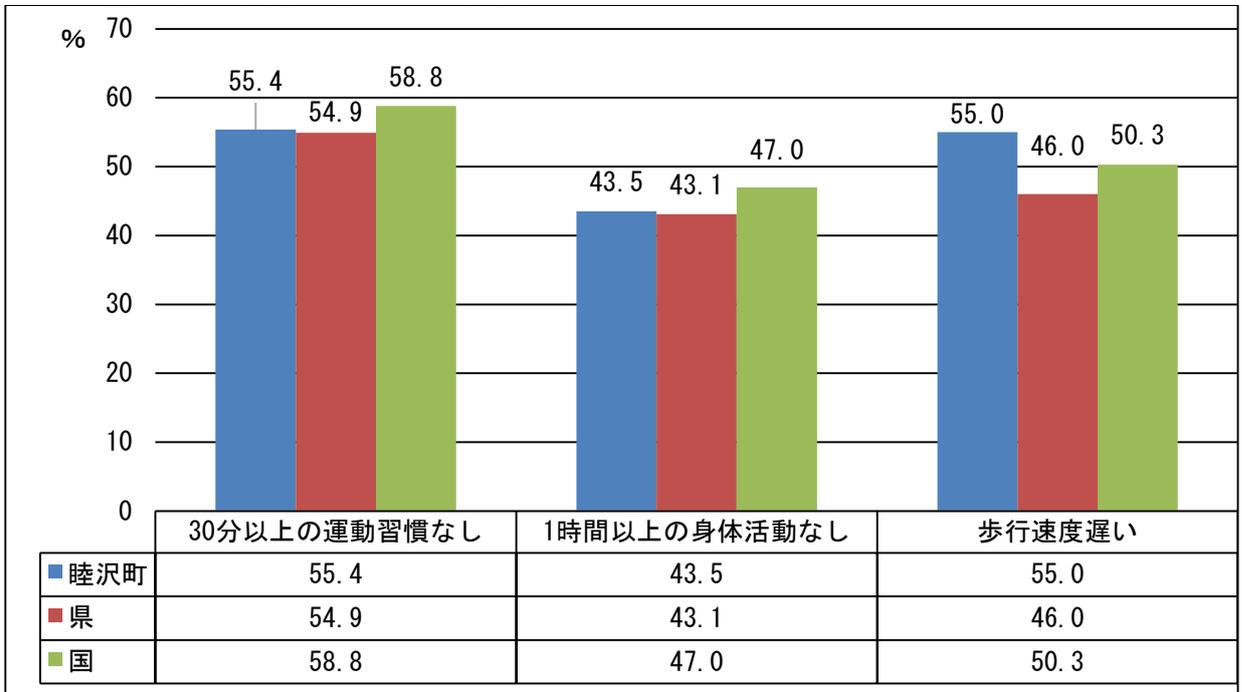
町の40～74歳の喫煙については、県・国とほぼ同じ割合となっています。飲酒については、毎日飲酒する割合は県・国より低くなっているものの、飲酒量が2合以上の割合は県の1.54倍、国の1.43倍となっています。睡眠不足と感じているものの割合は県、国よりも低くなっています。



資料：KDB「地域の全体像の把握」平成28年度

⑨運動習慣の状況（40～74 歳）

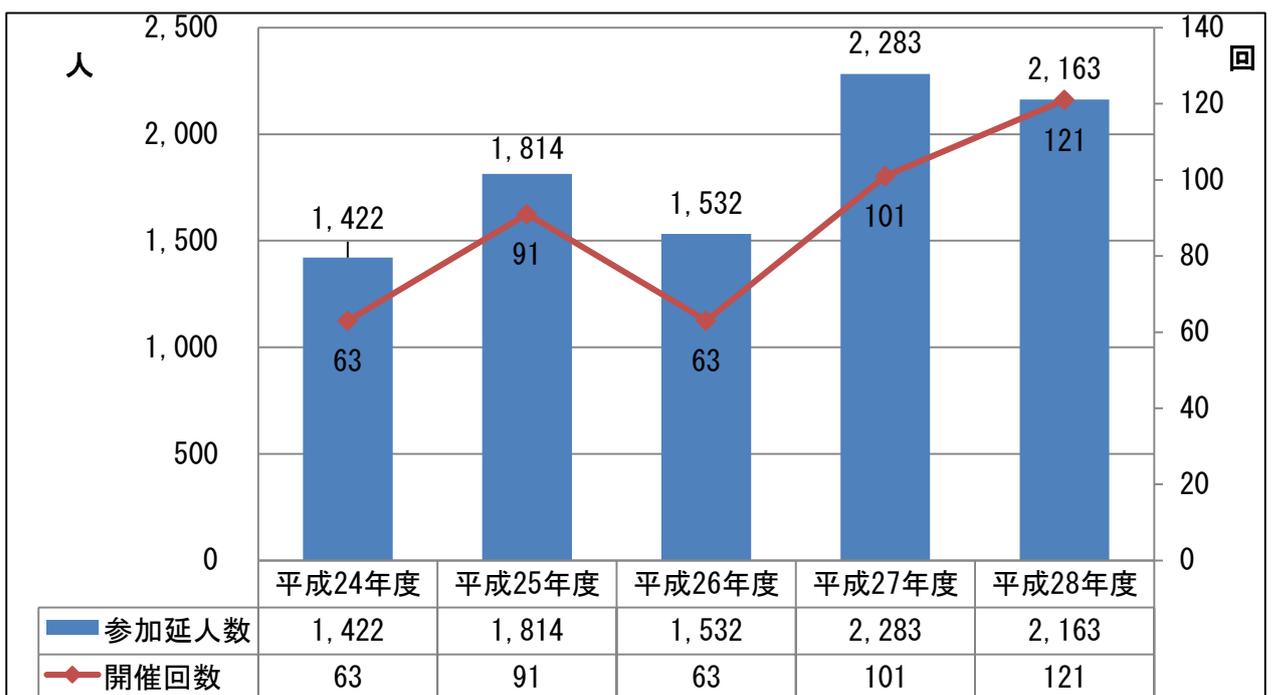
1 回30分以上の運動習慣がない人（55.4%）の割合と、1 日1 時間以上の身体活動をしていない人（43.5%）の割合は、県より高く、歩行速度が遅い人（55%）は国・県より高くなっています。



資料：KDB「地域の全体像の把握」平成28年度

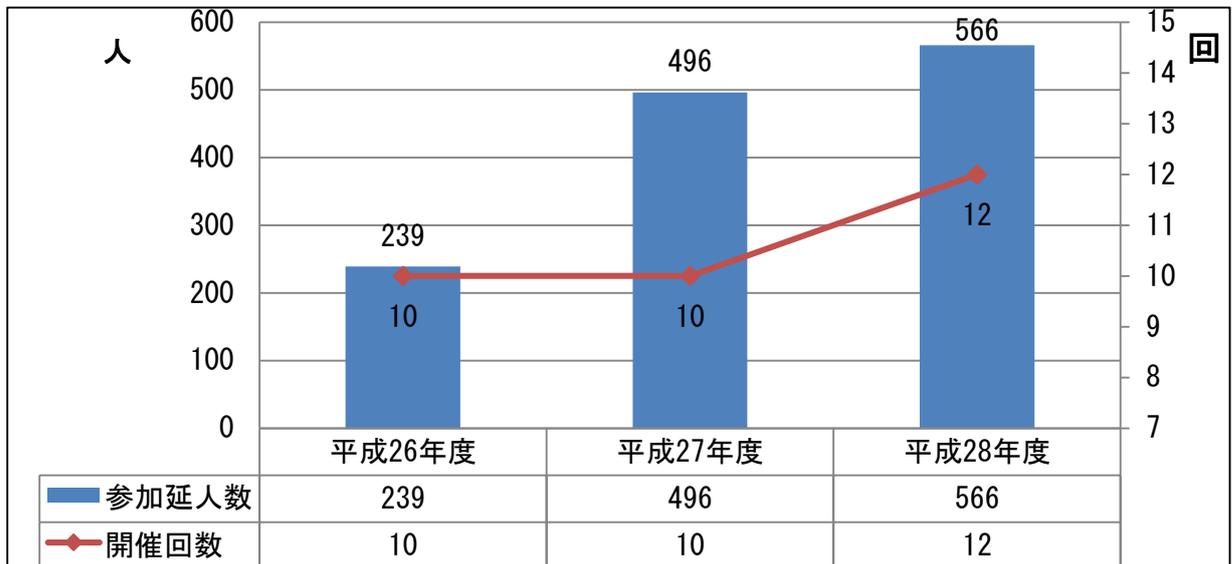
⑩ウエストへるス塾の状況

平成27年10月から夜間の教室を開催し、教室回数が増え、参加延人数も増えています。



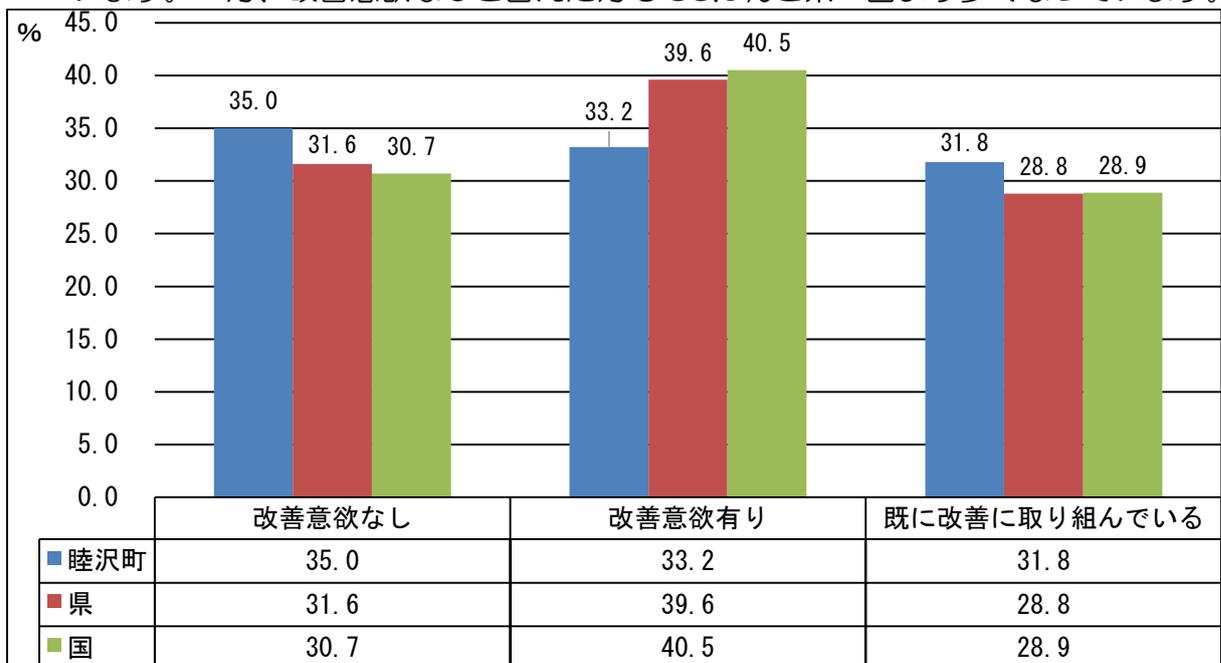
⑪みんなで健幸ウォークの状況

平成27年度から各地区の区民センター等を集合場所とし、距離を3kmと短く設定しています。平成28年度から夏季の夕方に実施し年間12回実施しています。毎年、少しずつ参加延人数が増えています。



⑫生活習慣改善の取り組み状況（40～74歳）

町の特定健診質問票の「生活習慣を改善してみようと思いますか」という質問に対して、既に取り組んでいると答えた方は、31.8%と県・国より多くなっています。一方、改善意欲なしと答えた方も35.0%と県・国より多くなっています。



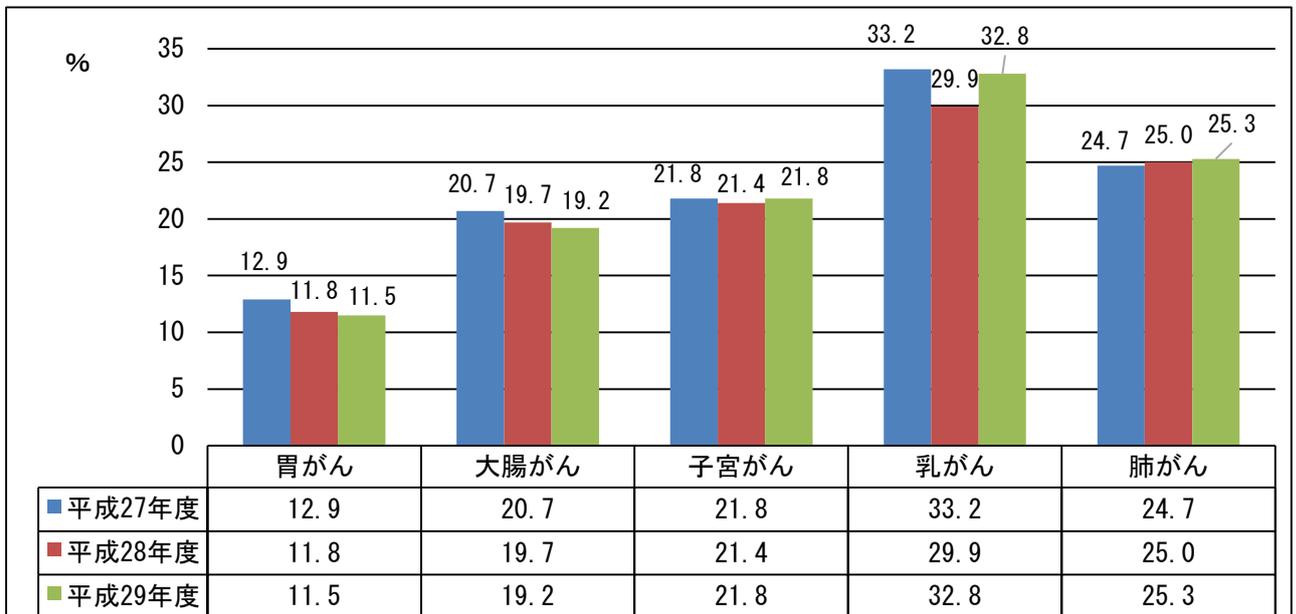
資料：KDB「地域の全体像の把握」

(5) がんの状況

①がん検診の受診状況

平成 29 年度のがん検診の受診率は胃がん・大腸がん検診は減少傾向にあり、その他については、前年度より増加傾向となっています。

【がん検診受診率】

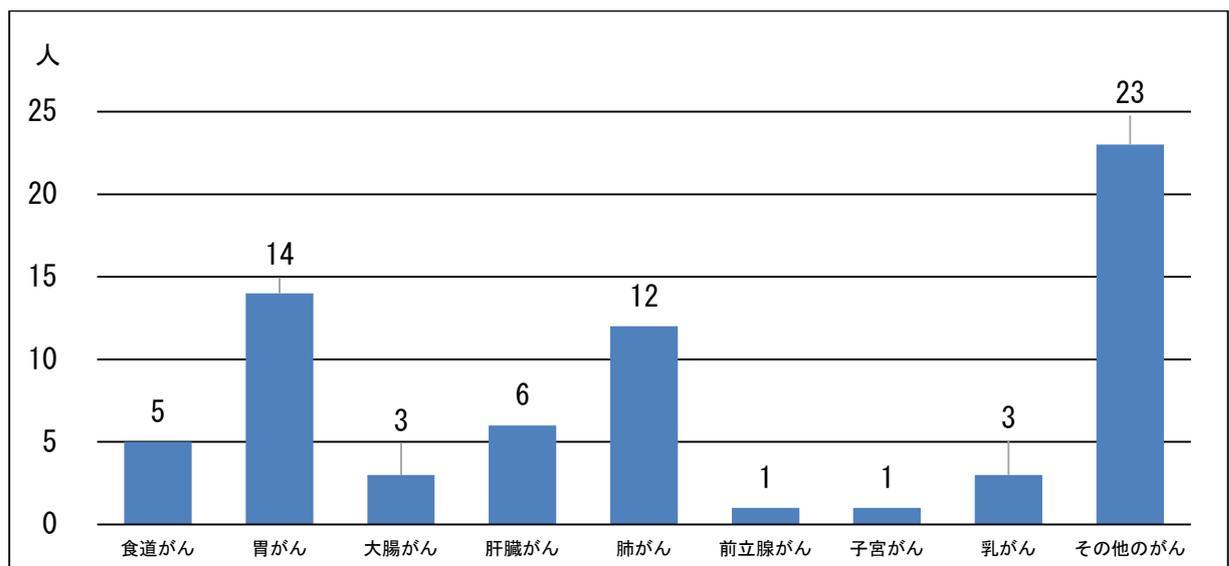


資料：健康づくり推進協議会

②部位別がん死亡者の状況

平成26年度から28年度累計による部位別がん死亡者数は、胃がん、肺がん、肝臓がんの順となっています。

【睦沢町部位別がん死亡者数 平成26～28年度累計】



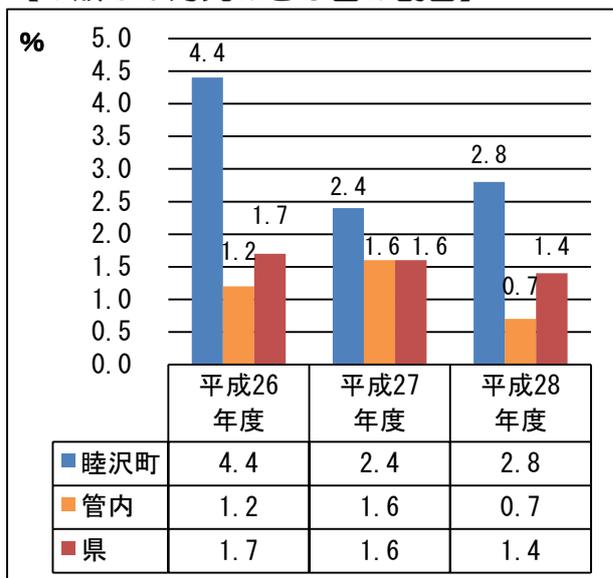
資料：千葉県衛生統計年報

(6) 歯・口腔の状況

① 幼児・児童・生徒の状況

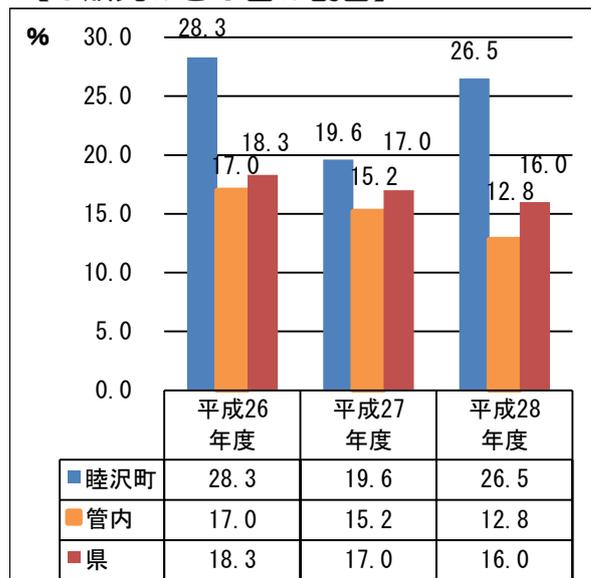
1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査において、むし歯のある児の割合は管内で比較すると高く、この割合は県の平均よりも上回っている状況です。小学校・中学校においてむし歯のある生徒の割合は県の平均より高い傾向にあります。

【1歳6か月児のむし歯の割合】



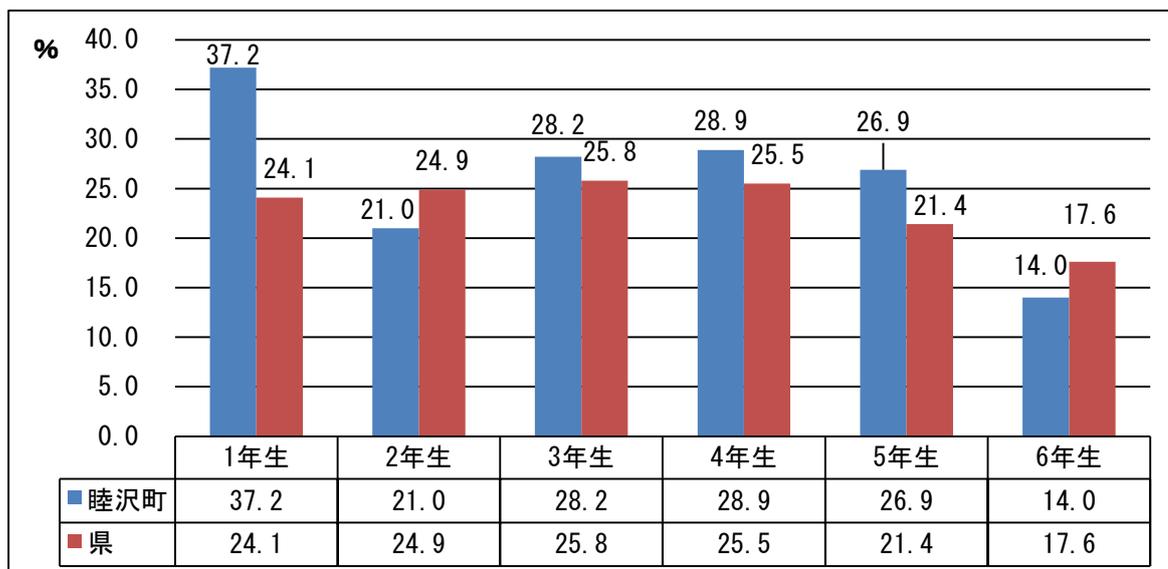
資料：1歳6か月児健診問診票

【3歳児のむし歯の割合】



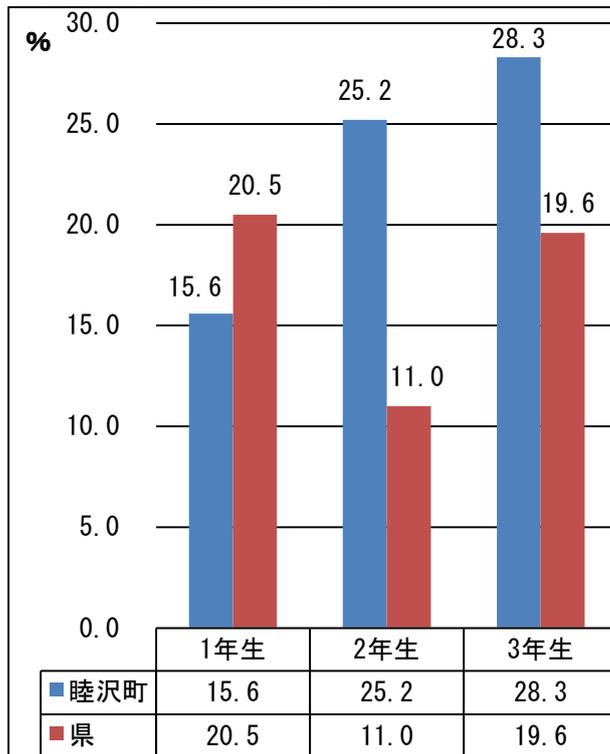
資料：3歳児健診問診票

【小学生のむし歯の割合】



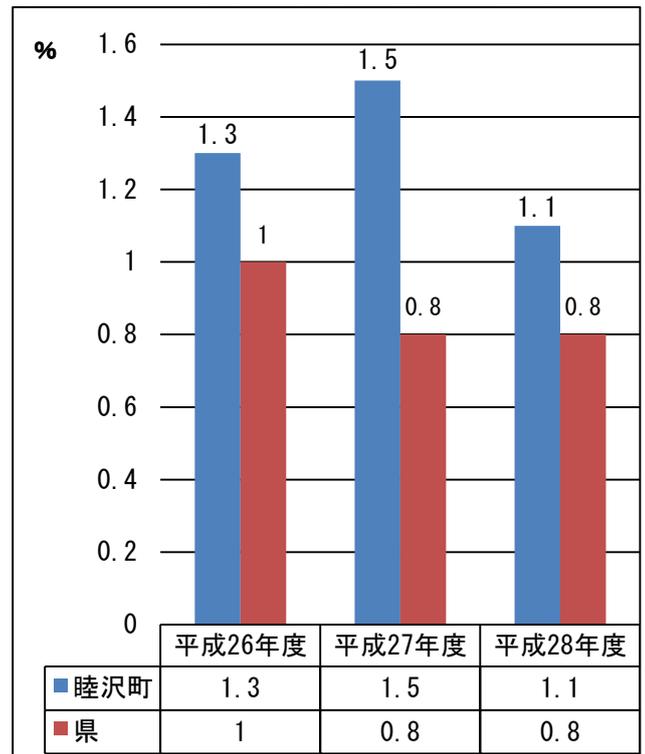
資料：小学校歯科定期診断（平成28年度）

【中学生のむし歯の割合】



資料：中学校歯科定期診断（平成28年度）

【12歳（中1）の1人あたりの平均永久歯のむし歯数（DMF指数）】

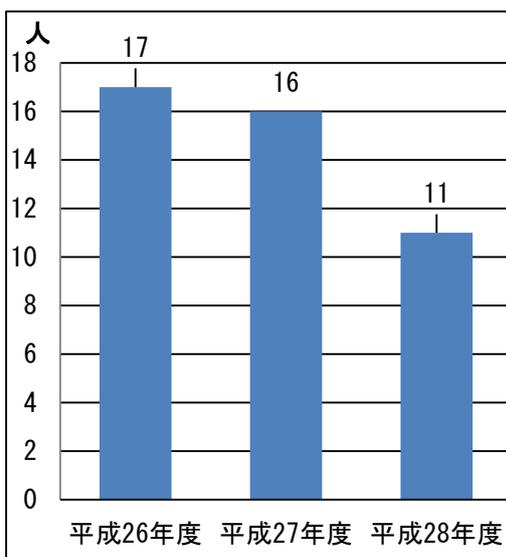


資料：中学校歯科定期診断（平成28年度）

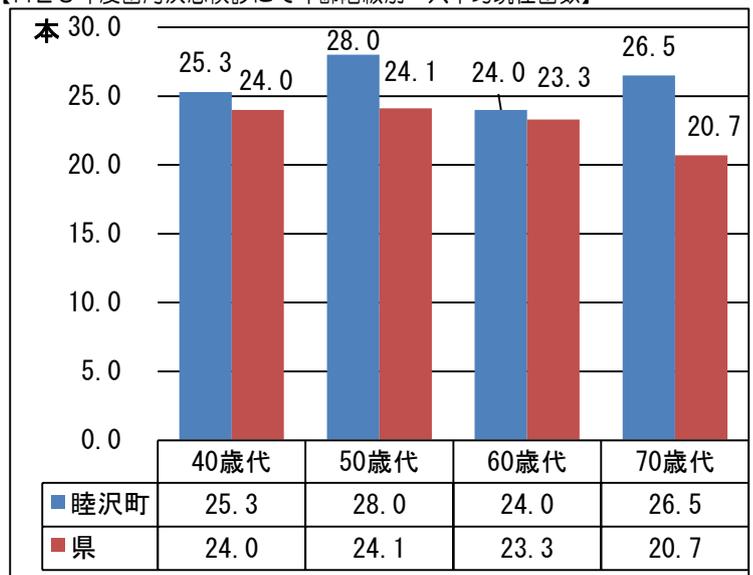
② 歯周疾患検診

歯周疾患検診の受診者数は減少しています。平成28年度歯周疾患検診結果では、受診者の年齢階級別一人平均現在歯数は県の平均より高い傾向にありました。しかし、歯周疾患検診の受診者全員が進行した歯周炎を有していました。

【歯周疾患検診受診者数】



【H28年度歯周疾患検診にて年齢階級別一人平均現在歯数】



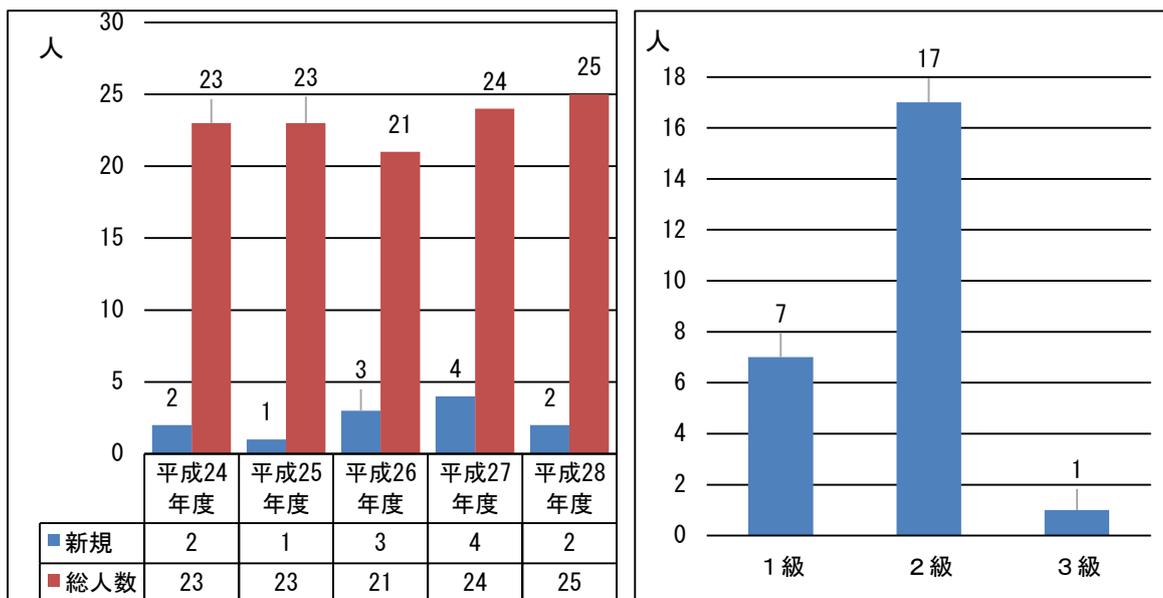
(7) こころの健康づくり（自殺対策）

①精神障害者福祉の現状

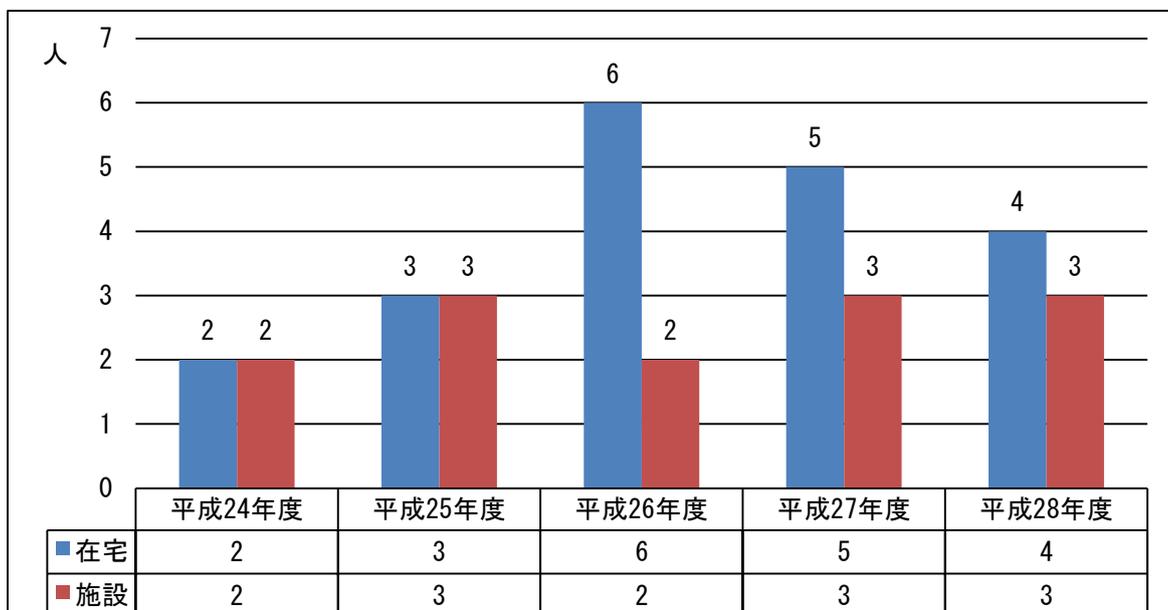
精神障害者福祉手帳所持者数は、減少傾向にありましたが平成27年度以降増加しています。また、サービスの利用者は、施設利用者は横ばい傾向である一方、在宅利用者は平成26年度までをピークに増加し、それ以降減少しています。

【精神障害者保健福祉手帳所持者の推移（各年度末）】

【等級別精神障害者保健福祉手帳所持者（平成28年度末）】



【障害福祉サービス利用者数（精神障害者保健福祉手帳所持者）】

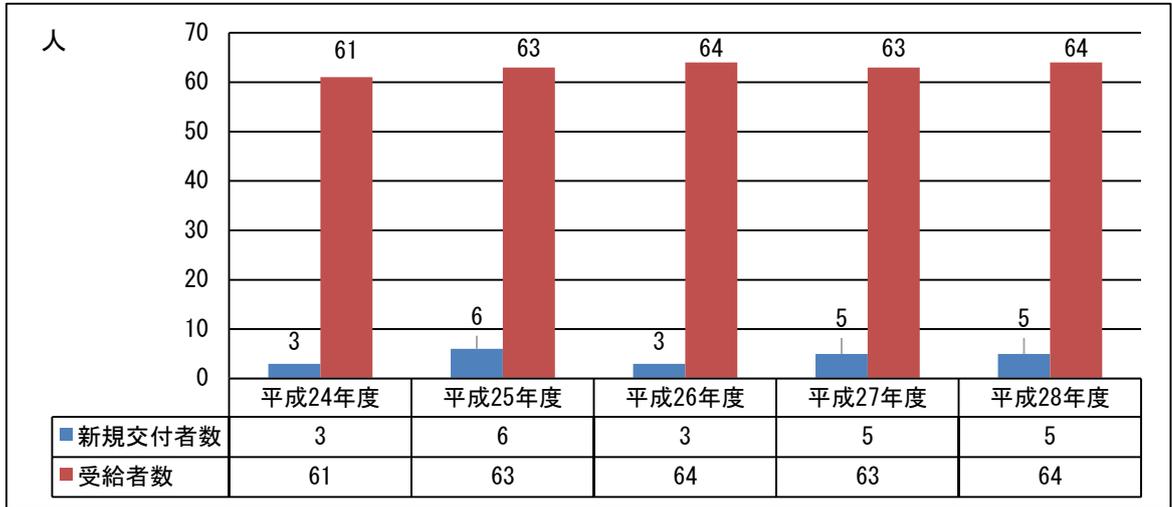


資料：福祉課精神障害者保健福祉手帳交付記録台帳
資料：福祉課障害福祉サービス支給決定一覧

②自立支援医療受給者の状況

自立支援医療新規受給者数は5人前後、受給者数は65人弱います。

【自立支援医療（精神通院）受給者数】

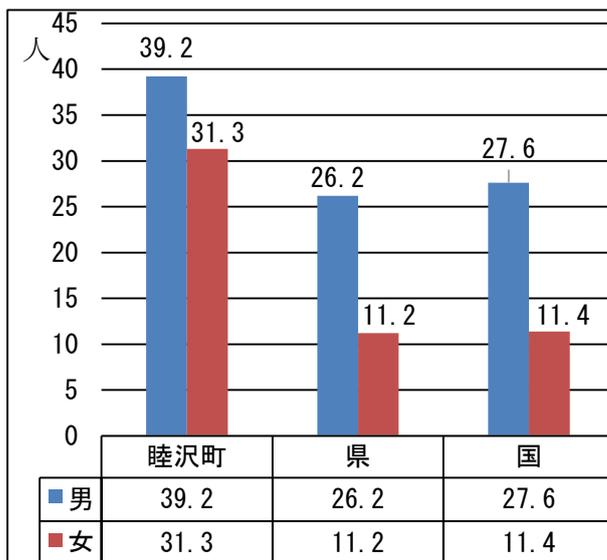


資料：福祉課自立支援医療受給者記録台帳

③自殺死亡者の状況

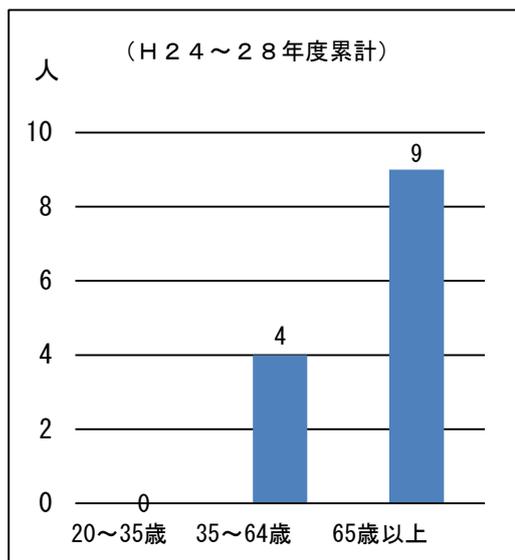
人口動態統計に基づく人口10万人当たりの自殺者数は、男女共に国、県を大幅に上回っています。年齢階級別では、65歳以上の高齢期が9人おり、全体の7割を占めています。

【粗死亡率（人口10万対）】



資料：（平成24年～28年の合計）
「千葉県衛生統計年報（人口動態調査）」
（平成28年統計データより）

【睦沢町年齢階級別自殺者数】

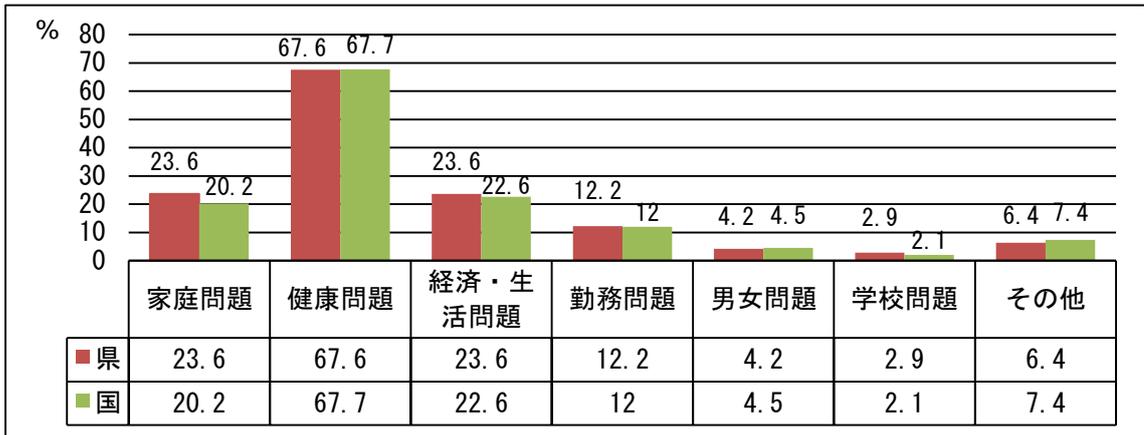


資料：千葉県における自殺の統計

④自殺の原因・動機別の状況

平成27年度の警察統計をもとに再集計された内閣府自殺対策推進室の自殺統計によると、住所地で集計した自殺者のうち、原因・動機が特定できた者における原因・動機（1人につき3つまで計上）の占める割合は、国・県共に健康問題、経済・生活問題、家庭問題が上位を占めています。特に健康問題は60%以上と高い割合です。

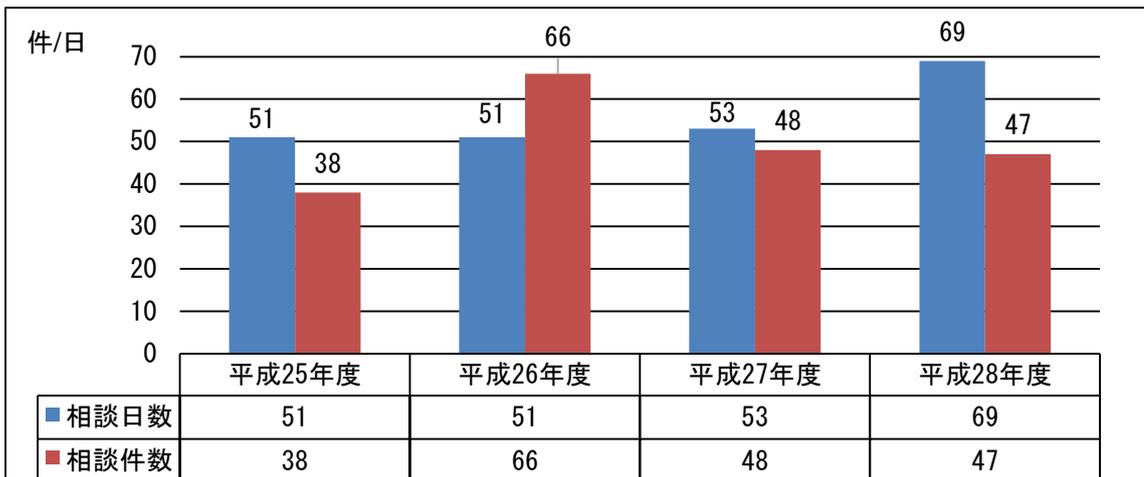
【自殺の原因・動機特定者に占める各種原因の割合】



資料：平成27年地域における自殺の基礎資料
（内閣府自殺対策推進室：警察統計を基に再編集したもの）

⑤こころの電話相談実施状況

平成26年度には週1回を、平成28年度より週1回～2回へ相談日を拡大し相談件数が26年度は増加したもののその後減少しています。



資料：健康づくり推進協議会